

学校法人 兵庫医科大学 2024 年度 事業報告書



EMPOWER THE PEOPLE

心に響く医を、私たちがいるかぎり

～建学の精神～

社会の福祉への奉仕

人間への深い愛

人間への幅の広い科学的理解

目 次

I. 法人の概要

1.	沿	革	-----	1		
2.	設置する学校・学部・学科等			-----	3	
3.	キャンパスの所在地			-----	3	
4.	役員・評議員・教職員			-----	4	
5.	組	織	-----	8		
6.	関	連	法	人	-----	10

II. 事業の概要

1. 2024年度事業計画<重点施策>と	達	成	状	況	-----	11
2. 法	人				-----	20
3. 大	学				-----	28
3.1. 西宮キャンパス					-----	28
3.2. 神戸キャンパス					-----	34
4. 病院	西宮キャンパス				-----	42
5. 篠山キャンパス					-----	44
6. 梅田キャンパス					-----	46

III. 財務の概要

1. 2024年度の決算概要	-----	47
2. 事業活動収支計算書	-----	50
3. 資金収支計算書	-----	51
4. 貸借対照表	-----	52
5. 主要な財務比率の推移	-----	53
6. キャッシュ・フローの推移	-----	55
7. 財産目録	-----	56
8. 監査報告書	-----	57

I 法人の概要

1. 沿革

1971年	11月	学校法人兵庫医科大学寄附行為認可及び兵庫医科大学設置認可
1972年	4月	兵庫医科大学開学(入学定員 医学部 100名)
	4月	兵庫医科大学病院開設
1973年	8月	病院棟(1号館)完成
1974年	4月	中央動物実験棟(7号館)完成
	8月	校舎、講堂(3号館)完成
1978年	3月	兵庫医科大学大学院医学研究科設置認可
1980年	2月	病院・研究棟(8号館)完成
	8月	兵庫医科大学 ドイツ連邦共和国ザールランド大学との学術交流に関する協定を締結
1981年	11月	鳴尾浜総合グラウンド完成
1984年	4月	研究棟(9号館)完成
1994年	3月	兵庫医科大学病院 特定機能病院に指定
1995年	1月	阪神・淡路大震災 被災
1996年	10月	兵庫医科大学病院 災害拠点病院に指定
	11月	兵庫医科大学病院 エイズ拠点病院に指定
1997年	4月	兵庫医科大学先端医学研究所開設
	10月	兵庫医科大学篠山病院開設
	11月	立体駐車場完成
1999年	6月	兵庫医科大学リハビリテーションセンター開設
	9月	兵庫医科大学ささやま老人保健施設開設
	11月	兵庫医科大学 中華人民共和国汕頭大学医学院との学術交流に関する協定を締結
2000年	3月	病院棟(10号館)完成(開学25周年記念事業)
2001年	4月	兵庫医科大学附属看護専門学校開校
2004年	3月	兵庫医科大学 大学基準協会の相互評価により、大学基準適合の認定
	4月	兵庫医科大学病院 阪神南園地域リハビリテーション支援センターに指定
2005年	3月	平成記念会館完成(開学30周年記念事業)
	12月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価(Ver.4.0)の認定
2006年	3月	兵庫医科大学 中華人民共和国天津医科大学との学術交流に関する協定を締結
	11月	学校法人兵庫医科大学寄附行為変更認可及び兵庫医療大学設置認可
	11月	兵庫医科大学病院 PET センター開設
2007年	4月	兵庫医療大学開学 (入学定員 薬学部 150名、看護学部 100名、リハビリテーション学部 80名)
	7月	兵庫医科大学 関西学院大学との学術交流に関する包括協定締結
	7月	兵庫医科大学病院 兵庫県エイズ治療中核拠点病院に指定
	10月	兵庫医科大学 クロアチア共和国 Rijeka 大学医学部との学術交流に関する協定を締結
2008年	2月	兵庫医科大学病院 地域がん診療連携拠点病院に指定
	4月	兵庫医科大学病院 肝疾患診療連携拠点病院に指定
	7月	学校法人兵庫医科大学篠山市と兵庫医科大学篠山病院の運営と整備に関する基本協定を締結
2009年	3月	兵庫医科大学附属看護専門学校開校
	4月	兵庫医科大学 入学定員が110名となる(緊急医師確保対策:2名、骨太の方針2008:8名増員)
	4月	兵庫医科大学病院 兵庫県認知症疾患医療センターに指定
2010年	6月	兵庫医科大学ささやま医療センター開院(兵庫医科大学篠山病院を改称)
	12月	兵庫医療大学大学院看護学研究科及び医療科学研究科設置認可
2011年	1月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価(Ver.6.0)の認定
	3月	兵庫医科大学 大学基準協会の認証評価により、大学基準適合の認定
2012年	11月	兵庫医療大学大学院薬学研究科設置認可
	11月	学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院設立
	11月	兵庫医科大学 アメリカ合衆国カリフォルニア大学サンディエゴ校と学術交流に関する基本合意書を締結

	12 月	兵庫医科大学病院 急性医療総合センター完成(開学 40 周年記念事業)
2013 年	3 月	兵庫医療大学 大学基準協会の認証評価により、大学基準適合の認定
	5 月	兵庫医科大学 ブルガリア共和国ソフィア医科大学との学術交流に関する協定を締結
2013 年	12 月	兵庫医科大学ささやま医療センター 日本医療機能評価機構より病院機能評価(3rdG:Ver.1.0 一般病院 1)の認定
2014 年	3 月	兵庫医科大学 オーストラリア連邦阿德レード大学と学術交流に関する基本合意書を締結
	4 月	兵庫医科大学 研究医養成枠として 2 名増員し、入学定員は 112 名となる
2015 年	4 月	兵庫医科大学 健康医学クリニック開設
	4 月	兵庫医科大学 社会学連携推進機構設置
	4 月	兵庫医科大学病院 総合周産期母子医療センターに指定
2016 年	1 月	兵庫医科大学ささやま居宅サービスセンター開設
	2 月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価(3rdG:Ver.1.1)の認定
	3 月	学校法人兵庫医科大学 篠山市との土地交換契約を締結
	12 月	ドイツ連邦共和国ビュルツブルグ大学医学部と学術交流協定を締結
2017 年	11 月	教育研究棟 竣工
2018 年	2 月	兵庫医科大学病院 兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院に指定
	3 月	兵庫医科大学 大学基準協会の認証評価により大学基準適合の認定
	4 月	兵庫医科大学病院 がんゲノム医療連携病院に指定
	6 月	学校法人兵庫医科大学 篠山市との病院運営継続の基本協定を締結
2019 年	2 月	兵庫医科大学ささやま医療センター 日本医療機能評価機構より病院機能評価(3rdG:Ver.2.0 一般病院 1 及びリハビリテーション病院(副機能))の認定
	4 月	兵庫医科大学病院 兵庫県難病診療連携拠点病院に指定
	8 月	兵庫医科大学ささやま居宅サービスセンター 厚生労働省より「機能強化型訪問看護ステーション(機能強化型訪問看護管理療養費 3)」の認定
	9 月	兵庫医科大学病院 がんゲノム医療拠点病院に指定
	11 月	兵庫医科大学病院 小児がん連携病院に指定
2020 年	4 月	兵庫医科大学病院 地域がん診療連携拠点病院(高度型)に指定
	12 月	新立体駐車場・デッキ棟完成
2021 年	8 月	学校法人兵庫医科大学寄附行為変更認可及び兵庫医科大学に薬学部 医療薬学科、看護学部 看護学科、リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科及び大学院 薬学研究科、看護学研究科、医療科学研究科 設置認可
2022 年	2 月	兵庫医科大学 日本医学教育評価機構により医学教育分野別評価基準 Ver.2.32 の認定
	2 月	学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院 閉院
	4 月	兵庫医療大学と兵庫医科大学が統合 4学部4研究科を擁する兵庫医科大学が誕生
	4 月	学校法人兵庫医科大学 宝塚市との医療等における連携に関する協定書を締結
	8 月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)の認定
	10 月	兵庫医科大学健康医学クリニックを移転し、大阪に兵庫医科大学梅田健康医学クリニックを開設
2023 年	4 月	兵庫医科大学病院 地域がん診療連携拠点病院に指定
2024 年	4 月	兵庫医科大学医療科学研究科をリハビリテーション科学研究科へ名称変更
	4 月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価(3rdG:Ver.2.0 一般病院 3)の認定
	8 月	兵庫医科大学大学院大学院看護学研究科博士後期課程及びリハビリテーション科学研究科博士後期課程設置認可

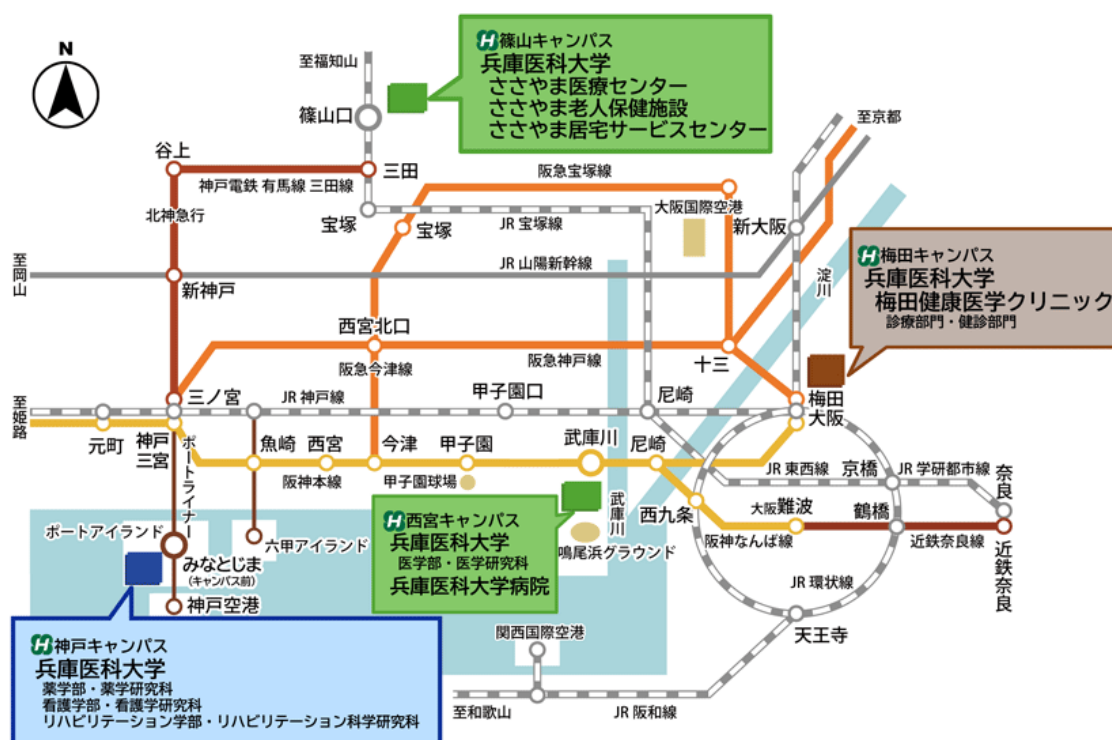
2. 設置する学校・学部・学科等(2024 年 4 月 1 日現在)

学 校 名	学部・学科等名	入学定員	2024 年度 入学者数	収容定員	現 員
兵庫医科大学 (学長:鈴木敬一郎) 1972 年 4 月開学	大学院 医学研究科	60	38	240	184
	大学院 薬学研究科	3	4	12	14
	大学院 看護学研究科	8	8	16	19
	大学院 リハビリテーション科学研究科	8	9	16	20
	医学部 医学科	112	112	672	702
	薬学部 医療薬学科	150	122	900	738
	看護学部 看護学科	100	104	400	449
	リハビリテーション学部 理学療法学科	40	42	160	184
	リハビリテーション学部 作業療法学科	40	43	160	163

3. キャンパスの所在地

学校法人兵庫医科大学

西宮キャンパス	兵庫県西宮市武庫川町 1 番 1 号(〒663-8501) 兵庫医科大学医学部 医学科 大学院 医学研究科 兵庫医科大学病院
篠山キャンパス	兵庫県丹波篠山市黒岡 5 番地(〒669-2321) 兵庫医科大学 ささやま医療センター 兵庫県丹波篠山市黒岡 36 番地(〒669-2321) 兵庫医科大学 ささやま老人保健施設 兵庫医科大学 ささやま居宅サービスセンター
神戸キャンパス	兵庫県神戸市中央区港島 1 丁目 3 番地 6(〒650-8530) 兵庫医科大学 薬学部 医療薬学科 看護学部 看護学科 リハビリテーション学部 理学療法学科 リハビリテーション学部 作業療法学科 大学院 薬学研究科 大学院 看護学研究科 大学院 リハビリテーション科学研究科
梅田キャンパス	大阪府大阪市北区梅田 1 丁目 13 番 1 号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス 13 階(〒530-0001) 兵庫医科大学 梅田健康医学クリニック



4. 役員・評議員・教職員

○ 役員（2025年3月31日現在）

理事【定員 17～19名・現員 19名】

現職	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	担当業務
理事長	太城 力良	常勤	2005.6.1	総括
副理事長	野口 光一	〃	2009.4.1	教学事業管理 経営企画（予算・中期事業計画を含む） 危機管理（総括） コンプライアンス 情報
常務理事	松村 昭夫	〃	2019.4.1	財務 物流・施設 経営企画（副） 危機管理（副統括、西宮キャンパス） コンプライアンス（副） 情報（副） 社会貢献（統括）
常務理事 （病院事業管理者）	阪上 雅史	〃	2016.4.1	病院事業管理（梅田クリニックを含む） 新病院建設 広報（統括） 募金・基金
兵庫医科大学学長	鈴木 敬一郎	〃	2013.4.1	大学運営（薬学教育強化） ダイバーシティ推進 多職種連携

兵庫医科大学教授・ 兵庫医科大学病院長	池 内 浩 基	〃	2022.4.1	病院運営 臨床教育研修統括 医師派遣 社会貢献(西宮キャンパス) 広報(病院)
ささやま医療センター病院長	藤 岡 宏 幸	〃	2019.4.1	篠山キャンパス運営 危機管理(篠山キャンパス) 社会貢献(篠山キャンパス)
兵庫医科大学教授・副学長・ 医学部長	廣 田 誠 一	〃	2023.4.1	国際交流 緑樹会対応 広報(医学部)
兵庫医科大学教授・副学長	田 中 稔 之	〃	2022.4.1	神戸キャンパス運営 危機管理(神戸キャンパス) 広報(神戸 3 学部) 社学連携
兵庫医科大学教授・副学長	土 田 敏 恵	〃	2023.4.1	研究科設置 看護人材連携 社会貢献(神戸キャンパス)
事務局長	佐々木 周一	〃	2023.4.1	人事 経営企画 (副) 新病院建設 (副)
東京医科歯科大学 名誉教授	西 岡 清	非常勤	2016.4.1	
神戸市立医療センター 中央市民病院 放射線診断科 参事	石 藏 礼 一	〃	2022.4.1	
宝塚市立病院 総長	西 信 一	〃	2019.4.1	
兵庫県医師会 会長・ 八田クリニック 院長	八 田 昌 樹	〃	2022.8.1	
医療法人 協和会 理事長	北 川 透	〃	2023.4.1	
兵庫県 保健医療部長	山 下 輝 夫	〃	2022.6.1	
上ヶ原病院 理事長	大江 与喜子	〃	2022.4.1	
弁護士	木 内 道 祥	〃	2020.9.1	

監 事【定員 2～3 名・現員 3 名】

現 職	氏 名	常勤・ 非常勤の別	就任年月日
監事	森 田 泰 夫	非常勤	2019.4.1
社会福祉法人恩賜財団済生会支部 神奈川県済生会 顧問	正 木 義 博	〃	2018.12.1
公認会計士	後 藤 研 了	〃	2021.4.1

1. 責任限定契約の締結について

本法人は、私立学校法及び本法人寄附行為 第 49 条の規定に基づき、非業務執行理事等との間で責任限定契約を締結している。

2. 役員賠償責任保険の締結について

本法人は、被保険者の範囲を理事・監事とする役員賠償責任保険契約を締結している。学校法人や第三者訴訟等により、被保険者が負担することとなる訴訟費用及び損害賠償金等を填補の対象としている。

○ 評議員（2025 年 3 月 31 日現在）

評議員【定員 40～44 名・現員 41 名】

氏 名	主 な 現 職
太 城 力 良	理事長
野 口 光 一	副理事長
松 村 昭 夫	常務理事
阪 上 雅 史	常務理事・病院事業管理者
鈴木 敬一郎	兵庫医科大学長
池 内 浩 基	兵庫医科大学教授・兵庫医科大学病院長
藤 岡 宏 幸	兵庫医科大学教授・ささやま医療センター病院長
小 山 英 則	兵庫医科大学教授・副学長
廣 田 誠 一	兵庫医科大学教授・副学長・医学部長
野 田 洋 子	ささやま医療センター看護部長
木 島 貴 志	兵庫医科大学教授・兵庫医科大学病院副院長
高 橋 仁 美	看護部長・兵庫医科大学病院副院長
蓮池 由起子	兵庫医科大学教授・医学教育センター長
石 戸 聡	兵庫医科大学教授・教務部長
大 柳 光 正	梅田健康医学クリニック院長
佐々木 周一	事務局長
青 木 俊 二	兵庫医科大学教授・薬学部長
田 中 稔 之	兵庫医科大学教授・副学長
玉 木 彰	兵庫医科大学教授・リハビリテーション学部長
土 田 敏 恵	兵庫医科大学教授・副学長
今 野 理 恵	兵庫医科大学教授・看護学部長
中 村 高 志	事務局次長
大江 与喜子	上ヶ原病院 理事長
福渡 秀一郎	福渡医院院長・兵庫医科大学 後援会会長
澤 田 友 宏	海鼻会（同窓会）会長・社会医療法人ペガサス馬場記念病院 薬剤部
石 藏 礼 一	緑樹会（同窓会）会長・神戸市立医療センター中央市民病院 放射線診断科 参事
西 岡 清	理事
丸山 美津子	公益社団法人兵庫県看護協会 会長
笠 井 秀 一	一般社団法人兵庫県薬剤師会 会長
山 中 若 樹	医療法人信和会 理事長
北 川 透	医療法人協和会 理事長
八 田 昌 樹	兵庫県医師会長・八田クリニック 院長
山 下 輝 夫	兵庫県 保健医療部長
岩 崎 敏 雄	西宮市副市長
三 川 博 英	神戸市健康局 副局長
堀 井 宏 之	丹波篠山市副市長
夏 莉 千 晶	東日本税理士法人 税理士
木 内 道 祥	弁護士
伊 賀 俊 行	一般社団法人西宮市医師会 会長・伊賀眼科クリニック 院長
間 瀬 教 史	一般社団法人兵庫県理学療法士会 会長
甲 斐 義 啓	宝塚市立病院 副事業管理者

○ 教職員数(2025 年 3 月 31 日現在)

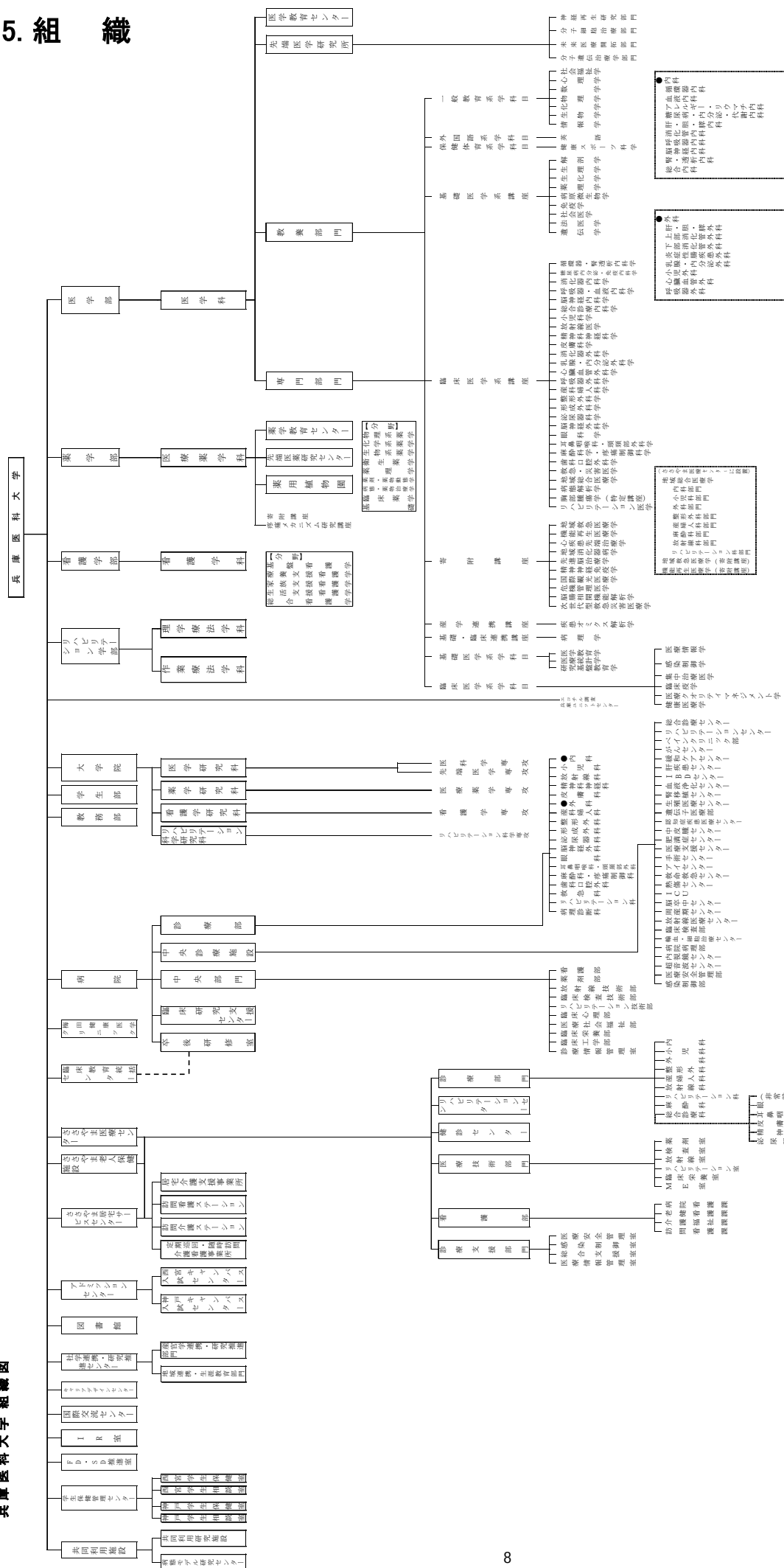
1. 教員数

	西宮 キャンパス	篠山 キャンパス	神戸 キャンパス	梅田 キャンパス	合計
学長	1	-	-	-	1
副学長	3	-	2	-	5
教授	78	1	41	1	121
准教授	41	2	24	-	67
講師	78	3	29	-	110
助教	211	6	30	2	249
助手	-	-	6	-	6
合計	412	12	132	3	559

2. 職員数

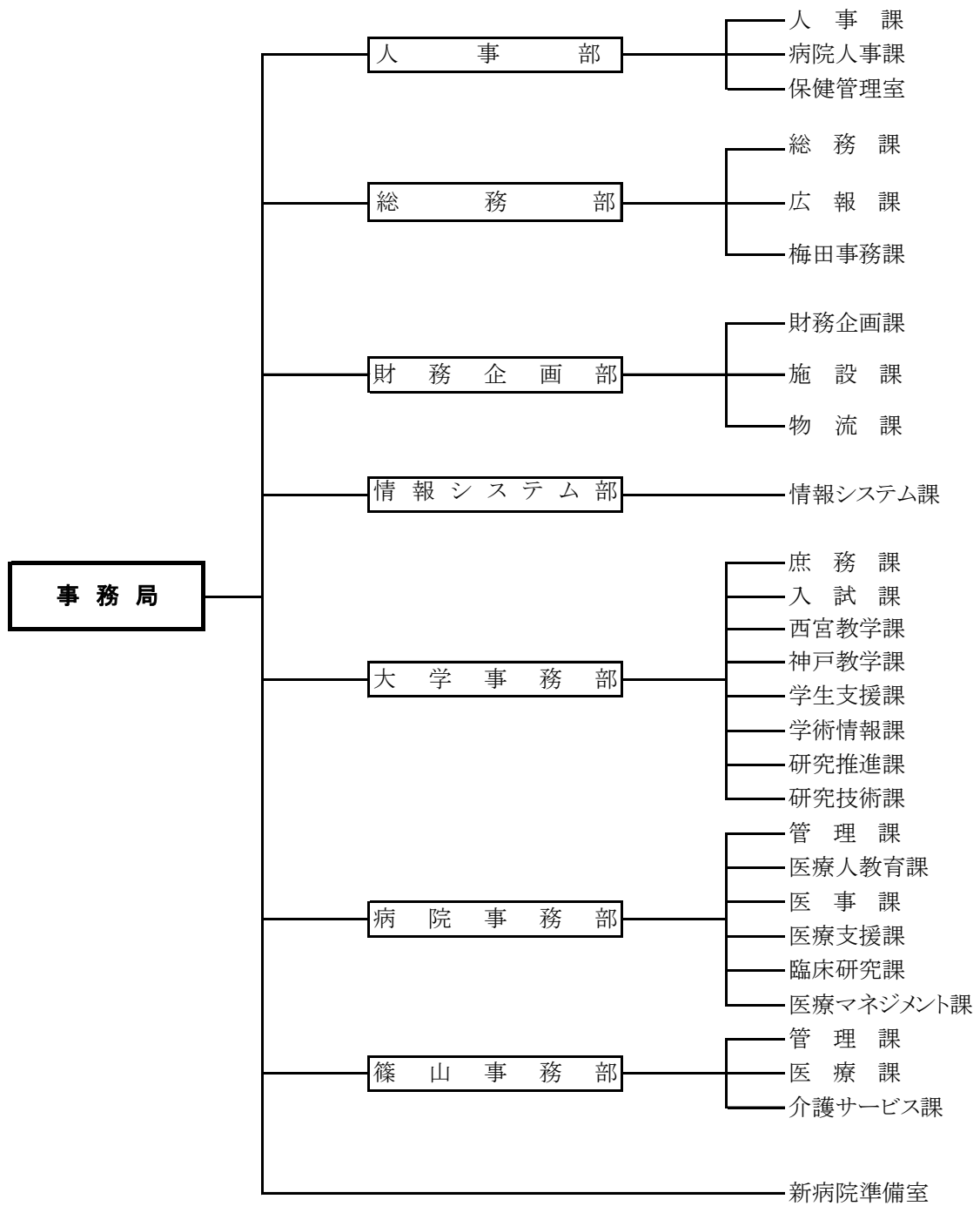
		西宮 キャンパス	篠山 キャンパス	神戸 キャンパス	梅田 キャンパス	合計
医師	病院長	1	1	-	-	2
	梅田健康医学クリニック 院長	-	-	-	1	1
	病院助手	80	4	-	1	85
	レジデント	108	5	-	-	113
	臨床研修医	97	-	-	-	97
医療技術職員		1,377	180	5	25	1,587
その他技術職員		199	-	10	-	209
福祉職員		10	56	-	-	66
事務職員		436	45	44	18	543
技能・労務職員		156	29	1	1	187
合計		2,464	320	60	46	2,890

5. 組 織



事務局組織図

2025.3.31現在



6. 関 連 法 人

○ 株式会社 エイチ・アイ

設 立 日	2004 年 12 月 1 日
資 本 金	1,000 万円
所 在 地	西宮市武庫川町 1 番 1 号
出 資 者	学校法人 兵庫医科大学
役 員 構 成	代表取締役 松 村 昭 夫 常務取締役 香 川 静 麿 取 締 役 池 内 浩 基 取 締 役 佐々木周一 取 締 役 中 村 高 志 取 締 役 谷 和 彦 取 締 役 小 寺 斉 人 取 締 役 高 橋 仁 美 取 締 役 上 田 幹 夫 監 査 役 森 田 泰 夫
従 業 員	18 名
事 業 内 容	飲食店・売店の運営管理、業務受託他

○ 有限会社 エイチ・アイ・サービス

設 立 日	2005 年 1 月 5 日
資 本 金	300 万円
所 在 地	西宮市武庫川町 1 番 1 号
出 資 者	株式会社 エイチ・アイ
役 員 構 成	取 締 役 香 川 静 麿
従 業 員	3 名
事 業 内 容	損害保険代理店業、業務受託他

Ⅱ 事業の概要

1. 2024 年度事業計画＜重点施策＞と達成状況

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
1	【事業名】 質の高い入学生確保とドロップアウトを防ぐ在学生の学修指導強化 【事業の概要】 1. 新入試制度の企画・導入(全学) 2. 学生募集広報の強化ならびに高大連携の深化(神戸キャンパス) 3. 低学年次教育の強化(医学部) 4. ドロップアウトを防ぐための低学年次からの個別指導強化(薬学部)	1. 新入試制度の企画・導入(全学) - 総合型選抜(国際バカロレア枠)、総合型選抜(高大接続枠)の運用方法を検討のうえ、学生募集要項を作成している。また、新入試制度として、高校訪問等で内容を周知している。試験の実施については、円滑に実施できた。 7月に関西学院中等部・高等部において、本学の大学説明会を実施。併せて学校推薦型選抜(特別選抜)を周知した。 - 医学部の新入試制度案を策定し、7月・9月開催の西宮キャンパス入試検討委員会にて審議し、委員会案が確定し、教授会、大学運営会議の承認を得た。 - 薬学部・看護学部・リハビリテーション学部の新入試制度案を策定し、アドミッションセンター・神戸キャンパス入試センター合同会議にて審議。7月・10月開催の神戸キャンパス入試検討委員会にて審議し、委員会案が確定し、教授会、大学運営会議の承認を得た。 - 学外入試会場については、医学部は予備校訪問による調査を踏まえ、神戸会場から大阪会場に変更とした。薬学部・看護学部・リハビリテーション学部は、現在の試験会場の受験状況、他大学の状況を踏まえ、次年度に継続して検討することとなった。 - 薬学部 2025 年度学校推薦型選抜(指定校制)に近畿圏の中高一貫校から新規の指定校を指定し、指定した高校から薬学部学校推薦型選抜(指定校制)に出願があった。 - 他大学薬学部の地域枠入試等の調査を行った。様々な地域枠があり、今後の本学の入試制度策定の参考とする。 2. 学生募集広報の強化ならびに高大連携の深化(神戸キャンパス) - 連携校に探究活動支援について調査し、要望のあった連携校に対して探究活動支援を行った。 - 高校での探究活動を評価する探究活動研究発表会(HMU High School Awards)を新たに企画し、募集を行った。東京から福岡まで 31 組の応募があり、一次選考で 10 組が通過し、3月26日開催の発表会では 10 組が発表し、グランプリ 1 組、準グランプリ 1 組、審査員特別賞 1 組、高校生特別賞 1 組を選定した。 - 高大連携プログラムの概要を連携校に対して通知し、7月15日(月・祝日)に開催した。今年度から神戸キャンパスにて実際の授業を体験する企画を実施した。 - 高大連携プログラムとして兵庫医科大学病院見学会(高大連携校対象)を新たに企画し、2月15日、3月15日に開催した。 - 第Ⅱ期(2025年4月～2028年3月)の高大連携校について、アドミッションセンターにて選定し、27校(第Ⅰ期 25校)と高大連携協定を締結した。 - 全学・看護学部・理学療法学科の動画が完成し、既存動画(医学部・薬学部・作業療法学科)を含めて受験生サイトで公

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		開している。オープンキャンパス等のイベントでも活用している。 ・ IPE、兵庫医科大学病院における全学実習の取り組みについて大学案内を中心に展開し、校内ガイダンス、オープンキャンパス等で周知している。 ・ 新たな高校訪問地域として、福井県、福岡県の高校を訪問した。また、地方向け冊子を作成し、地方の高校訪問時に活用している。また、昨年度から薬学部の指定校に指定している中四国の高校(訪問校)から薬学部学校推薦型選抜(指定校制)の出願があった。 ・ 5月～7月に連携校・重点校・医学部重点校・地方校・一般校を訪問、9・10月は連携校・重点校・地方校に加え、一部の一般校(6・7月訪問の状況を踏まえて選定)、新規の高校に訪問した。2月・3月は今年度入試結果の速報と次年度入試の変更点周知の為に連携校・重点校を訪問した。 ・ 12月に兵庫県・大阪府の予備校(総合)を再訪問し、一般選抜、大学入学共通テスト利用入試について周知している。 3. 低学年次教育の強化(医学部) ・ 教務システム等を活用した学生情報、各教員が実施している面談記録等の共有については、教務システム(Campus Square)のうち学生情報メニューの学生ポートフォリオにおいて、学生個人単位の学籍情報を教員が閲覧できるようにシステム環境を整備し、操作マニュアルなどを含め運用案を策定した。 ・ 教務部長、医学教育センター、教育担当副学長、医学部長、学長に対して、これまで教員には付与していなかった教務システムの閲覧権限を付与する方向性について調整した(打合せの実施等)。(4月24日付学長決裁) ・ 成績不良や面談の実施状況などから問題のある学生を早期発見することを目的として、教育関係教員(学長、医学部長、教育担当副学長、教務部長、学生部長、医学教育センター長、学年担任)に対して4月24日付で閲覧権限付与の通知済み。さらに、科目責任者などへの閲覧拡大希望があり、2025年度より運用開始予定である。(2月6日教授会) ・ 低学年次学生への学修負担軽減として、2025年度授業計画において1年の授業の分散を決定した。(11月8日教務委員会) ・ 学長ならびに大学運営会議が主体となり新たな学修支援システムESSを2025年度より導入することが決定した。(10月8日大学運営会議) 4. ドロップアウトを防ぐための低学年次からの個別指導強化(薬学部) ・ 1年次生全員にアドバイザー教員を配し、学生生活の指導や学修状況を確認するための個別指導を3回実施した。そこで抽出された問題を抱える学生には、アドバイザー教員から、担任・統括アドバイザー、学生相談室、薬学教育センターと連携しサポートを実施した。 ・ 昨年度実施した1年次生対象の少人数制化学補講について、その効果があったことから、今年度は1年次生対象の化

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		学系科目に少人数制演習も新たに導入し、教授から助教までの化学系教員が補講対応している。 - 基礎分野教員による1年次担当チームが中心となり、1年次生への補習を実施した。 10月16日～12月25日において原則水曜日と金曜日の週2回勉強会を実施した。 - 参加者については前期の成績評価などをもとに勉強会への必須参加対象者(55名/1年生126名中)を決定した。 2年生対象で勉強会を前期から継続的に実施した。 - 後期は10月4日～12月27日において毎週金曜日に実施した。 - 前年度を基準に、特に不合格者数が多い科目を中心に主要勉強教科を設定し、毎週2教科ずつ各教科の教員の協力のもと講義で使う小テストやオリジナルの確認問題を作成し勉強会内で演習するようにした。 1年生を対象に2月14日に2回目のプレースメントテストを実施した。特に薬学にかかわりのある化学・生物に科目を絞って実施し、両科目の合計得点を比較したところ5%得点率の伸びが見られた。 3月に1～3年生の進級者を対象として総合実力テストを実施した。また、このテストにおいて各学年下位30%の学生にベーシック基礎学力強化のための演習を実施した。各学年30名程度が対象となり、少人数での演習を行った。また各学年に教員が2名つき、学生からの質問対応やアドバイスを実施した。 - 上記の基礎学力強化演習の欠席者および、次年度仮進級となった学生のうち3単位以上不合格の学生を中心に、学習状況の振り返りおよび次年度にむけた学習指導の面談を薬学教育センター特別招聘教授や職員、1年次担当チームが中心となり実施した。 - この面談対象者23名を含み、3月26日時点の累計面談人数は258名となった。
2	【事業名】 収益性の確保に向けた体制強化 【事業の概要】 1. 病棟・ケアユニットの再編成 2. 手術件数の増加に向けた体制の構築 3. 患者受け入れ体制の強化 4. 近隣医療機関との連携強化 5. 地域連携に係る広報活動の最適化	1. 病棟・ケアユニットの再編成 ＜小児、周産期医療の診療体制の再考＞ - 病床資源の最適な活用を目的に総合周産期母子医療センターの指定要件であったMFICU加算(総合周産期特定集中治療室管理料1)を4月より取り下げ、患者数に応じた対応を開始している。またGCU(新生児治療回復室入院医療管理料)病床においては、対象患者の制限はしていないが、合理的な看護配置が可能な6床単位(6対1配置のため)でのベッドコントロールを開始している。 - 院内の方針決定のうえ兵庫県医務課との協議において、総合周産期母子医療センターの指定を取り下げ、その代替として地域周産期母子医療センターとしての運営を進めていく方針である旨打診を行った。なお、指定の変更手続きについては、今後県と協議のうえ進めていく予定であり、当院としては2026年4月以降の変更を目指し、2025年度については引き続き総合周産期母子医療センターとしての運営を継続する意向である。

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		＜ケアユニット病棟の病床利用率増加に向けた方策の検討＞ - 救急応需体制の抜本的な改革について、繰り返し議論を重ね、長年実現できなかった応需体制の見直しは完成した。今後、院内に強固に浸透させるため、来年度上半期をかけて更に推進していく。 - 併せて救急患者受け入れ後の各診療科へのドレナージ体制も同応需フローにおいて整備しており、運用実現に向けて更に進めていく。 2. 手術件数の増加に向けた体制の構築 4月より「手術センターコアメンバー会議」を立ち上げた。構成員は手術センター長、麻酔科医局長、手術看護師長、担当事務であり、手術センターの効率的運用・土曜日稼働拡大も視野に入れた増収策を検討する会議として毎月1回開催している。 - 手術センター関連診療科の病院長ヒアリングに手術センター事務担当者が臨席し、各診療科の手術に関わる意見を聴いた。それを踏まえて手術センター事務担当者と手術センター関連診療科の医師とで「手術センター事務ヒアリング」(任意・希望する診療科)を随時実施し、手術センター全体への要望や改善点などの聴取した内容を手術センターコアメンバー会議にてフィードバックしている。 - 手術センターにおける毎月第3土曜日の予定手術を5月より運用開始した。12月までに毎月6～7件の予定手術件数を実施している。 - 手術支援ロボット hinotori 導入(6月15日)に伴い、従来の「ダヴィンチワーキング」を「ロボットワーキング」として名称を改め、診療科毎の手術枠配分の決定、術者の研修にかかる運用の取り決め等を行った。hinotori を使用した手術は毎月、概ね10～15件実施している。 3. 患者受け入れ体制の強化 ＜時間外外来の運用の再検討＞ - 救急応需体制の抜本的な改革については上記のとおり応需フローは完成している。 - 患者の受入れ体制強化のため、また新病院棟に向けて救急車両による搬送受け入れの平日・夜間休日問わず一本化(救命救急センター初療室)の院内体制整備に取り組み、既に12診療科(脳神経外科(5月より開始)、循環器内科(6月10日より開始)、呼吸器内科(10月1日より開始)、心臓血管外科、呼吸器外科、上部消化管外科、下部消化管外科、炎症性腸疾患外科、肝胆膵外科(1月6日より開始)、腎・透析内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌・代謝内科(1月20日より開始))で実施済である。 - 今後、他の診療科については院内のIP電話の運用の見直しと初療室の対応体制(応需連絡チャットの活用等)の構築を行いつつ、来年度中に全科実施に向けて進めていく。 - トリアージ看護師配置については、今後はトリアージだけでなく救急患者の初療での受入れ体制強化において救急救命士の活用も視野に入れて検討を行っていく。

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		＜オンライン予約システムの活用促進＞ ・ 4 月中に各診療科と予約枠の調整を行い、5 月 1 日より運用を開始した。オンライン紹介予約は 17 診療科(循環器内科、血液内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、消化管内科、呼吸器内科、腎・透析内科、皮膚科、上部消化管外科、下部消化管外科、炎症性腸疾患外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、形成外科、歯科口腔外科、中皮腫センター、肥満症センター)でスタートした。導入後については大きな問題や苦情などもなく順調に運用している。利用申請医療機関は 12 月 27 日現在で 263 件となっており登録者は増加している。12 月単月でのオンライン予約対象診療科へのクリニックからのオンライン予約利用率は 7.8%となっている。 ・ 2 月 15 日に実施した西宮市医師会との病診・病病連携の会において、オンライン紹介予約についての講演を実施した。また、予約時の FAX に利用促進のバナーを入れる、営業活動(オンライン紹介予約導入の診療科独自の訪問も含む)などの際チラシを持参しオンライン予約利用を促すなどオンライン予約利用促進についての取り組みを継続して実施している。 4. 近隣医療機関との連携強化 ＜返書状況の改善による近隣医療機関との連携基盤の確立＞ ・ 返書の促進については、病院部長会で毎月指標を報告している他、下半期病院長ヒアリングにおいても、診療科毎に上半期の返書状況の報告を行った。さらに医師が返書する他院からの紹介状を見つけやすく、簡単に返書を作成しやすい電子カルテの操作を検証し、返書作成マニュアルを作成した。また、電子カルテ内にある返書・紹介状等の文面テンプレート機能を積極的に活用することを目的に、入院時、退院時等各場面で作成する返書の基本テンプレートを作成した。 ・ 入退院返書については、現在外来受診後の来院報告書と同様のものを前提に電子カルテの紹介及び入退院の電子カルテデータの検証を行った。 ＜近隣医療機関の情報収集実施＞ ・ 医療機関検索システムについては、課内での運用を開始しており病院探しなどに活用している。緑樹会、登録医等のデータを反映させることができるよう、調整を進めている。また、訪問記録やイベント、トラブルなどの記録などデータの蓄積を開始している。 ・ 診療科とのデータ共有に向けその試験的運用を目指して、呼吸器外科と調整を行っている 5. 地域連携に係る広報活動の最適化 ＜診療科による訪問活動の強化＞ ・ 訪問ツールの活用促進、訪問活動状況の確認・促進については、病院長ヒアリングでの案内もあり、各診療科の訪問は 168 件となった。また、新規医療機関の訪問も本格的に再開をし、1～2 月はインフルエンザ等の流行の影響もあり、訪問を控えた部分はあったものの、年間 39 件の訪問を行った。

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		<ホームページ・告知物・イベント間のシームレスな連携構築> ・ イベントスケジュールの早期決定、告知早期化、ホームページとの連携については、医療支援課内イベント担当者、ホームページ担当者、チラシ等作成担当者間で広報物の作成期間や相関性を整理し、診療科からコンテンツ収集を行うための年間スケジュールの構築を行った。スケジュールについては部長会に通知を行った上で医局長メール宛にも通知を行った。また、収集したコンテンツについても上記各担当者で連携・共有を行い、ホームページをはじめ各種媒体で告知できる体制を構築した。
3	【事業名】 ささやま医療センターの経営改善 【事業の概要】 1. 収支の向上 2. 地域の介護事業所との連携強化 3. 看護師確保体制に合わせた病床再編	1. 収支の向上 ・ 外来延患者数は昨年よりやや減少している。入院延患者数はほぼ前年並みである。新規患者数は昨年より減少している。医療機関の訪問に関しては、選定を行っていたが、医療センターの先行きが不透明であるため、積極的な営業活動の実施は行わなかった。 ・ 入院稼働率は昨年よりやや低下した。ベッドコントロールを行い入院患者を受け入れたが、コロナによる入院制限並びにマンパワー不足による稼働制限の影響などにより稼働率が低下した。 ・ 入院単価は、一般病棟と回復期リハビリテーション病棟は目標に届いておらず、地域包括ケア病棟は目標を超えている。外来単価は、目標を下回っている。 ・ 査定返戻については、毎月査定の資料を作成し、内容検討を実施した。多くの職種に情報が伝わるように院内保険審査委員会・医局会・診療運営委員会で周知を図ったが、査定率は目標にわずかに届かなかった。 ・ 診療報酬改定に伴う施設基準確認と見直しの実施。新規算定項目の届出を完了した。施設基準の維持並びに新規項目について随時検討を行い適正に管理・維持できている。 2. 地域の介護事業所との連携強化 ・ オンライン予約導入に向け、病院幹部会及び病院部長会にてオンライン予約システムの概要説明を行った。また、各診療科にオンライン予約実施に係るアンケートを実施し、オンライン予約への参入を検討するとの回答があった各診療科の医師とオンライン予約に関する個別ヒアリングを実施した。オンライン予約実施にあたっては、各診療科の予約の状況を加味しオンライン予約に対応可能な診療科から順次実施していく方向で調整を進めている。オンライン予約については、2024年5月より稼働することとして調整を進めている。 ・ 返書については医師に電子カルテによる返書作成方法を周知することで、返書状況の改善が見込めることから、使用方法のマニュアルを作成・周知していく予定である。第1弾として基本的な返書手順について病院部長会・医局長会で周知を行った。返書指標については病院部長会にて定期的に提示し、返書の作成を促している。返書率・返書回数ともに昨年度に比して増加している。 ・ 病院長ヒアリングなどを通じて各診療科に対し地域医療機関への訪問を促進するとともに、各診療科が具体的に行動しやすいよう紹介比率の高い医療機関一覧などのデータを提示

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		した。また併せて医療支援センターによる訪問サポート制度の活用を促した。訪問件数については昨年度比で増加している。 3. 看護師確保体制に合わせた病床再編 ・ 3 法人 7 介護事業施設と協定を結び、定期的な会議において介護施設入所者の現病歴、医療センターの空床情報等の情報共有を行うことにより入院患者の獲得につなげている。 ・ 4 月 30 日に居宅サービスセンター長と当施設のケアマネジャーを交えて医療・介護連携勉強会の主旨および期待される効果等確認。 ・ 5 月 9 日にレスパイト入院勉強会の開催方法と日程について調整し、5 月 16 日に丹波篠山市役所長寿福祉課に相談。5 月末に勉強会の案内および申し込み用紙を作成し、6 月 11 日に丹波篠山市役所長寿福祉課および丹波市役所介護保険課を通じて丹波圏域の居宅介護支援事業所に案内および申し込み用紙を配布。丹波篠山市を中心に丹波圏域のケアマネジャー28 名に参加してもらい、7 月 25 日に勉強会を実施。 ・ 8 月 26 日に丹波市での勉強会の開催方法と日程について調整し、丹波市役所介護保険課に相談。丹波市のケアマネジャー23 名に参加してもらい、10 月 24 日に勉強会を実施。勉強会を実施したことで、昨年度を上回る相談・申込依頼があった。
4	【事業名】 予算編成プロセスの最適化 【事業の概要】 1. 部門別の事業活動収支計算書の作成による予算・実績の差異可視化 2. 予算精緻化の取り組み (査定額作成プロセスの導入) 3. 予算編成ルール of 最適化	1. 部門別の事業活動収支計算書の作成による予算・実績の差異可視化 ・ 当初の計画通り 5・7 月の経営常務会において、予算・実績の差異可視化を行った。 ・ 主に以下の点が、予算と決算の差異を生じさせていた。 ①診療単価上昇に合わせた薬品費の増加 ②医療職の退職等による職員人件費の減少 ③光熱水費の減少(単価高騰が想定よりも抑えられた) ④医学部では、教員研究費等の配分ベースの予算目的が全体の約 20%を占め、予算と実際の執行実績に差異が生じている。 ⑤大学病院の医療収入は、4～8 月の実績に基づき編成したため、最終的な当年度実績との乖離が生じていた。 2. 予算精緻化の取り組み (査定額作成プロセスの導入) ・ 上述の差異可視化を踏まえ、12 月に経営企画室としての査定額を提示した。 ・ その後、1 月上旬の予算二次面談を、査定額に対する復活折衝の場と位置づけ、各部門との協議を行った。その結果、特に神戸キャンパス予算においては、1 億円規模の支出削減を実現し、収支改善に貢献した。 3. 予算編成ルール of 最適化 ・ 決算で使用する定員数按分の基準を用いて、学部別での事業活動収支予算を算出した。現在進める財務システム更新での技術的な課題を検証し、予算積算時からの按分計上を実装する予定である。

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		・教員研究費と診療研究費の一体化は、他大学の配分ルールや予算総額を確認した。また、本学の運用ルール案作成について、財務企画課内で一部検討を行った。 ・大学病院部門の予算目的において、「病院運営費」は薬品費、医療材料費等の変動費を含むため、固定費の支出状況が把握しづらい状況であった。この点を大学病院部門とも協議し、変動費と固定費に分けた小目的を設け、予算編成および執行管理を行うこととなった。
5	【事業名】 教職員満足度及び帰属意識の向上に資する魅力ある組織風土を目指した体制整備 【事業の概要】 1. 教職員満足度の経年把握体制の確立 2. 教職員のワークライフバランス実現を目指した制度の整備 3. 教職員の福利厚生の実施を目指した制度の整備	1. 教職員満足度の経年把握体制の確立 ＜新たな教職員満足度調査の実施＞ ・教職員満足度検討チームを中心に、法人全体を対象とした満足度調査の実施に向けて、調査の基本方針やスケジュール、分析方法を踏まえたうえで、調査項目や調査方法の検討を重ね、12月5日の常務会に附議し、承認を得た。 ・常務会での承認を受け、12月9日から27日にかけて調査を実施したが、初回期間での回答者数は目標に届かなかったため、1月31日まで回答期間を延長し、回答率の低い部署に対して督促を行った。その結果、最終的に回答率は72.2%に達した。 ・調査後、統計処理を行い、教職員向けの概要報告を準備のうえ、3月25日にインフォメーションにて報告を完了した。 ・調査項目や方法については、次回以降を見据えて検討を重ねており、今後はさらなる回答率向上に向けた手法の検討や、教職員への報告内容の精査も継続して進めていく。 ・調査結果の概要把握は完了したため、2025年度は調査結果の精査およびヒアリングを通じて、新たな施策の具体化を進めていく予定である。 ＜統計指標体制の策定＞ ・魅力ある組織風土の形成に向けて、現状を正確に把握する必要があることから、職員満足度をはじめとする各種統計指標の構築を目指したが、結果としては、従来から大きな課題であった教職員満足度の把握体制の構築にとどまる結果となった。 2. 教職員のワークライフバランス実現を目指した制度の整備 ＜世代別調査の実施＞ ・子育て支援・WLB検討チームを中心に、各世代が求める人事制度を把握するため、アンケート調査の実施に向けて、調査項目や調査方法の検討を重ねた。その結果、2025年2月21日から3月28日までの期間に全教職員を対象に実施した調査の回答率は32.8%となり、アンケート結果としては十分な回答率であったと考えている。 ・アンケート実施までに調査項目の検討・精査に時間を要し、予定より実施が遅れたことから、各世代へのヒアリング、教職員への調査結果の報告、及び調査結果に基づく新たな施策の実施については、2025年度の継続課題とする。 ＜新たな子育て支援策の実施＞ ・子育て支援・WLB検討チームにおいて、育児短時間制度の適用範囲の拡充及び時差出勤制度の見直し等の制度設計

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
		を行い、2月4日の常務会で附議・承認された。2025年4月1日施行に向けた準備を進め、教職員への新制度の周知も完了している。 3. 教職員の福利厚生の充実を目指した制度の整備 <教職員希望調査の実施> ・給与・厚生係を中心に、各世代が求める新たな福利厚生制度を把握するため、アンケート調査の実施に向けて、調査項目や調査方法の検討を重ねた。その結果、2025年2月21日から3月28日までの期間に全教職員を対象に実施した調査の回答率は32.8%となり、アンケート結果としては十分な回答率であったと考えている。 ・調査実施までに調査項目の検討・精査に時間を要し、実施時期が予定より遅れたことから、各世代へのヒアリング、教職員への調査結果報告、及び調査結果に基づく新たな施策の実施については、2025年度の継続課題とする。 <現行の福利厚生制度の利用促進> ・今回実施した教職員の福利厚生に関するアンケート調査では、現行の福利厚生制度に関する制度ごとの認知度を確認する設問や、制度をどのような媒体で知ったかを問う設問を設けた。これにより、本アンケート自体が福利厚生制度の利用促進に寄与したものと考えている。 ・また、現行制度のさらなる周知及び情報発信の手段として、スマートフォン等の端末で情報収集が可能となるアプリの導入や、人事部の学内ホームページのリニューアルについても検討を行っており、今後も引き続き検討を進めていく。 ・さらに、福利厚生の一つである企業型確定拠出年金(DC)制度については、個別相談会において教職員から寄せられた運用商品の追加要望に対応し、2024年12月の法改正による拠出限度額の増加に合わせて、全世界株式や米国株式など、ニーズの高い4商品を新たに追加することを決定した。この決定後、新商品の説明を含め、DC制度について改めて周知を行った。

2. 法 人

○ 新病院棟建設工事進捗状況

2023 年 5 月 15 日より開始された新病院棟建設工事について、2024 年度は施工者が作成した総合図をもとに約 80 回の総合図ヒアリングを関係部署と実施した。什器・家具等についても現有品調査をもとにヒアリングを約 60 回実施し、コストの抑制に努めながら選定を行った。

2025 年 3 月末時点での工事出来高率は 25.6%、日程経過率は 65.4%となっている。

また、2023 年 11 月より立上げた「10 号館改修計画 WG」は、2024 年度は計 7 回開催し、①配置予定の臨床系講座、その他諸室等の配分面積の考え方、②各階のゾーニング計画、③教育関連施設、④実験室などについて検討した。次年度はインフラ関係の調整も進めながら基本設計、実施設計へと進めていく。

○ 内部監査室

1. 業務・会計監査の実施

- ① 定例監査 公的研究費(2023 年度執行分)
- ② 定例監査 特定機能病院の管理者(病院長)に係る業務の執行状況
- ③ 安全衛生管理体制(篠山キャンパス)
- ④ 系統解剖及び献体に関する事務
- ⑤ ハラスメントの防止と対応
- ⑥ 研究倫理
- ⑦ 治験業務
- ⑧ ささやま老人保健施設の入所、退所、通所

2. 公益通報の申立窓口事務

申立なし

3. 監査の情報交換

日本内部監査協会、大学監査協会及びその他外部セミナーへの参加

4. 監事、監査法人との連携・情報の共有

- ① 三様監査連絡会参加(監事および監査法人と情報交換の開催)2 回(5 月、9 月)
- ② 監事会オブザーバー参加 6 回(奇数月)
- ③ 決算監事会参加(5 月)
- ④ 監査法人の監査計画説明会参加(9 月)

○ 保育事業利用実績

		利用者数	対前年度
病児保育室		延 65 名 (登録者数 286 名)	103.1% (107.9%)
保育園ポポラー			
	本学専用枠(月極)	平均 33 名	92.0%
	夜間保育	延 314 名	91.5%
	祝日開院日(全 2 日)	延 29 名	

○ ダイバーシティ推進事業

1. ダイバーシティプロジェクト教員制度

医学部女性教員の管理職比率を高めるための施策として 2023 年度より開始した「ダイバーシティプロジェクト（DP）教員制度」について、2024 年度は准教授 1 名と講師 1 名を選出し、7 月 1 日に採択証書授与式を行った。

また、女性医師・研究者同士の交流の機会を増やし、相互に高め合っていく環境創出のため、DP 教員交流会を 7 月 31 日に開催し、DP 教員の研究等取り組みについての報告や、学長を始めダイバーシティ推進事業関係教員も出席し、女性医師・研究者の支援について意見交換を行った。

2. 研究支援員制度

昨年度行ったクラウドファンディングプロジェクト『出産・育児でキャリアを諦めない！研究支援で「明るい未来」を応援』にていただいたご寄付を原資とし、データ入力や整理などの事務作業補助に加え、実験の補助も可能な「テクニカルプラン」を新たに導入し、2024 年度は事務補助プラン 3 名、テクニカルプラン 1 名、計 4 名の女性医師・研究者の支援を行った。

従来のダイバーシティ推進室雇用の研究支援員の他、人材派遣会社からの派遣による支援体制を取り入れ、実験補助支援と複数人並行での支援を行い、支援の質・量ともに向上した。

○ 兵庫医科大学保健管理センター

2024 年度の主な事業報告は次のとおり。

1. 健康診断関係

今年度から篠山キャンパスについても近畿健康管理センターに委託した実施に変更し、全てのキャンパス教職員の健康診断を一括で管理できるようになった。

今年度から健康診断結果による受診勧奨等をメールで行った。

各健康診断の実施延人数は次のとおり。

健康診断種類	西宮	篠山	神戸	梅田
定期健康診断	2,943	333	191	45
特定業務従事者健康診断	822	211	6	1
電離放射線特殊健康診断	1,136	58	25	4
有機溶剤特殊健康診断	125	15	30	1
特定化学物質特殊健康診断	47	15	23	1

2. 感染対策関係

○新型コロナウイルス感染症関連の対応

11 月に希望者 35 名(学生 3 名含む)に自己負担で新型コロナワクチンを接種した。

今年度も引き続き、職員の新型コロナ感染症陽性者の把握、接触者調査及び判定、濃厚接触者の就業前検査の調整は継続している。ただし、毎日の発生状況報告は 10 月に終了となった。

3. 医師の長時間勤務対策

2024 年 4 月から医師の働き方改革が開始され、1 カ月の時間外・休日労働時間が 80 時間を超えた医師を 100 時間以上と見込まれる医師とみなし、面接指導実施医師による面談を開始した。4 月～3 月の面談対象医師は延べ 127 人であった。

4. ストレスチェックの実施

事業主に義務付けられている、心理的な負担の程度を把握するための検査「ストレスチェック」を厚生労働省が公表した指針に基づき、外部機関（ティーベック株式会社）に委託して Web 方式で 11 月に実施した。

キャンパス全ての常勤職員を対象に実施し、結果は以下のとおりであった。

区分	実施率	高ストレス者率	報告会
全体	86.1%	17.3%	2025 年 2 月 理事長に報告
西宮	85.6%	17.5%	2025 年 2 月 安全衛生委員会に報告
神戸	87.1%	16.8%	2025 年 2 月 神戸キャンパス協議会に報告 2025 年 3 月 衛生委員会に報告
篠山	89.7%	15.8%	2025 年 3 月 衛生委員会に報告

5. セミナー及び研修会等の実施

日程	セミナー等	参加人数
12 月 1 日(日)～ 1 月 31 日(金)	e-ラーニングハラスメント研修 株式会社 エデュティメントプラネット(EP) ※非常勤医師、アルバイト含む	西宮 2,957 名 神戸 191 名 篠山 338 名 梅田 51 名
12 月 15 日(金)	睡眠教室 nishikawa の「快眠セミナー」	51 名

○ 情報センター

1. 情報センター運営協議会

今年度は 10 月の定例の他 3 回臨時に開催し、2026 年度新病院の開院に向けた病院情報システム及びネットワーク構成関連予算の審議の他、次年度の新規システム導入や既設システム更新等の各部署要望について必要性や費用対効果等を踏まえた予算化の可否を協議し、情報センターの次年度予算案として取りまとめた。

2. 2024 年度事業計画の完遂

(1) 病院系システム更新計画の策定

2026 年度の新病院移転に向けて、既存システムの更新計画や新規システムの導入選定を取りまとめ、情報システム予算を明確にした。既存システム 115 件、新規システム 7 件について各システムベンダー・部門担当者と仕様確認および見積り精査を進め、費用削減に取り組んだ。

(2) 法人系システム更新計画の策定

人事システムについては 2024 年度中に契約締結を行い 2025 年度の稼働に向けて現在までに引き続きシステム構築の支援を行っている。財務システムも 2024 年度中に機種選定委員会及び情報センター運営協議会にて審議しベンダー選定と 2025 年度の予算化が承認された。

(3) ネットワーク更新計画の策定と情報セキュリティ対策強化

計画に基づき平成記念会館、急性医療総合センターのネットワーク機器更新を完了した。また新病院の開院に向けたネットワーク基盤の更新計画案を取りまとめ、先行発注を行った。ファイアウォール機器も更新を実施し、近年のインターネット基盤の重要性を踏まえ安定したサービス提供が可能となるよう冗長化構成を実現した。その他情報セキュリティ研修や標的型メール訓練の実施や厚生労働省によるサイバーセキュリティ確保事業の受審、サイバー攻撃を想定した防災訓練への参画など情報セキュリティ強化と教職員のリテラシー向上に取り組んだ。

3. 2024 年度の新規システム導入及び既設システム更新

(1) 西宮キャンパス

- ① 病院系(採血予約対応、放射線部門システム一部更新)
- ② 法人・大学系(人事システム、教育用 PC・管理サーバ、教員業績管理システム)
- ③ ネットワーク系(ファイアウォール機器、平成記念会館・急性フロアスイッチ、無線 LAN 機器)

(2) 神戸キャンパス

- ① 法人・大学系(WEB 出願・入学手続きシステム)

(3) 篠山キャンパス

- ① 病院系(検体検査システム)

4. BPR・RPA 推進

2023 年度に引き続き、事務局 BPR 活動において、グループウェア上でのワークフロー・業務アプリ作成、Google AppsScript・RPA を利用した業務の効率化など、各部署の業務改善支援を行った。

5. その他

情報セキュリティ委員会開催

IT-BCP(病院情報システムの業務継続計画)の策定 等

○ 物流課

1. 医療材料・消耗品の価格低減推進

資源や原材料価格の高騰による物品価格の上昇が続いている中、SPD と緊密に連携してコスト改善に向けた対応を継続的に実施し、医療材料・消耗品の価格低減を実現させた。また、病院事務部と連携して近隣医療機関との共同購入計画に参画し、各機関の経営改善に資する利益創出を念頭に取り組みを行った。

2. 医薬品における後発品への切り替えと薬価交渉の取り組み強化

国の薬価引き下げ基調により医薬品のコスト比率が高まっている状況下、薬剤部と連携して後発医薬品に係る新規切り替え策定や既採用品価格の再交渉を実施した。また、先発医薬品等についても、ガイドラインを踏まえながら、取引状況の分析に基づく価格交渉の強化を進めた。

○ 施設課

1. 西宮キャンパス

- (1) **土地・建物の状況** 21 ページ参照
- (2) **建物・設備等の主な改修及び更新**
 - ① 急性医療総合センター 手術室・救命救急アイソレーション盤用UPS内蓄電池更新工事
 - ② 急性医療総合センター 救命救急センター他空調機器部品取替工事
 - ③ 急性医療総合センター 空調用熱源機器部品取替工事
 - ④ 教育研究棟 4 階情報教育室拡張工事
 - ⑤ 教育研究棟 11 階社会医学データサイエンス部門改修工事
 - ⑥ 10 号館 地階貯湯槽加熱用蒸気コイル更新工事
 - ⑦ PET センター ナースコールシステム更新工事
 - ⑧ 平成記念会館 外壁改修工事
 - ⑨ 平成記念会館 1 階剣道・柔道場・ミーティングルーム空調改修工事
 - ⑩ 平成記念会館 2 階アリーナ水銀灯 LED 化工事
 - ⑪ 各建物出入口 監視カメラ設置工事
 - ⑫ 住吉霊園 慰霊碑補修工事

2. 篠山キャンパス

- (1) **土地・建物の状況** 22 ページ参照
- (2) **建物・設備等の主な改修及び更新**
 - ① 医療センター 4 階手術室空調機器部品取替工事
 - ② 老人保健施設 小荷物専用昇降機部品取替工事
 - ③ ささやまみらい 避雷針設置工事

3. 神戸キャンパス

- (1) **土地・建物の状況** 22 ページ参照
- (2) **建物・設備等の主な改修及び更新**
 - ① 渡り廊下 外部柱補修工事
 - ② 空調用熱源機器部品取替工事
 - ③ 外壁タイル劣化調査

4. 梅田キャンパス

- (1) **土地・建物の状況** 23 ページ参照
- (2) **建物・設備等の主な改修及び更新**
 - ① 外来入口ロールスクリーン設置工事
 - ② 放射線画像読影に伴う外部接続配線工事

土地・建物の状況

○ 西宮キャンパス

建物区分	規 模 ・ 構 造	延 床 面 積 登記(m ²)	使 用 区 分	所在地 及び 敷地面積(m ²)
1 号 館 (校舎・病院)	SRC・S造 地下 1階 地上 13階 塔屋 2階	43,134.11	病院、臨床系研究室	武 庫 川 町 20,574.02
1号館附属棟 (事務所、食堂)	S造 4階	1,602.48	病院管理部門、食堂、売店	
2 号 館 (校舎・病院)	RC造 塔屋 6階 1階	5,563.50	病院、臨床系研究室、学生自習室	
教育研究棟 (校舎・講堂)	S造 塔屋 12階 1階	30,827.24	講義室、学生実習室、管理部門	
新立体駐車場 (車庫)	S造 6階	14,071.07	立体駐車場、車庫	
デッキ棟 (店舗・倉庫)	S造 3階	642.71	店舗、倉庫	
廃液・廃棄物倉庫棟	W造 2階	246.24	清掃事務所、倉庫	
小 計 (西側敷地)		96,087.35		20,574.02
8 号 館 (校舎・病院)	SRC・S造 地下 1階 地上 8階 塔屋 1階	12,694.74	病院、臨床系研究室	武 庫 川 町 20,346.32
10 号 館 (病院)	SRC造 地下 1階 地上 10階 塔屋 1階	18,744.41	病院、管理部門	
急性医療総合センター (病院)	RC造 7階	15,239.17	病院	
資 料 室 (資料室)	S造 塔屋 2階 1階	2,717.76	病院、病歴資料室	
マニホールド室 (配管室)	S造 1階	15.37	マニホールド室	
小 計 (東側敷地)		49,411.45		20,346.32
平成記念会館 (講堂・体育館)	SRC造 地下 1階 地上 3階	5,642.92	体育館、部室、クラブハウス、講堂	小 松 南 町 6,869.00
アーチェリー練習場他		-	アーチェリー練習場、ゴルフ練習場	小 松 南 町 3,575.05
大学会館等 (学生会館)	S造 2階	531.57	食堂	池 開 町 452.89
留学生宿舍	W造 2階	89.01	宿舍	池 開 町 78.08
PETセンター (病院)	RC造 4階	1,856.80	病院	池 開 町 1,048.34
総合グラウンド		-	野球場・陸上競技場他	鳴 尾 浜 33,064.00
クラブハウス等 (クラブハウス)	S造 1階	498.85	クラブハウス、倉庫等	
救護室	S造	70.07	救護室	
東鳴尾テニスコート		-	人工芝テニスコート3面	東 鳴 尾 町 2,706.70
東鳴尾テニスコート更衣棟	CB造	47.55	更衣室	
旧健康医学クリニック	RC造 3階	1,488.88	事務所	池 開 町 516.04
総合研修棟跡地		-	総合研修棟跡地	武 庫 川 町 829.77(借地)
小 計		10,225.65		48,310.10
合 計		155,724.45		89,230.44

土地・建物の状況

○ 篠山キャンパス

建物区分	規 模 ・ 構 造	延 床 面 積 登記 (㎡)	使 用 区 分	所在地 及び 敷地面積 (㎡)
ささやま医療センター (病院)	RC造 4階	11,634.22	病院	丹波篠山市 郡家字八ノ坪 黒岡字よし池ノ坪 黒岡字葭池ノ坪 敷地面積 (㎡) 17,037.70 丹波篠山市 山内町 黒岡字土井西池ノ坪 黒岡字西池ノ坪 借地面積 (㎡) 19,825.14 (丹波篠山市より無料貸与)
倉庫 (倉庫)	CB造 平屋建	52.50	倉庫	
病院	S造 地下1階 平屋建	1,089.33	病院	
看護師宿舍棟 (寄宿舍)	RC造 5階	1,214.71	宿舍(36戸)、ポンプ室、	
研修医棟 (寄宿舍)	RC造 4階	695.08	宿舍(15戸)、管理室、図書室、 討議室、講義室	
リハビリテーションセンター (リハビリテーションセンター)	RC造 平屋建 1部 S造	1,650.13	理学療法室、作業療法室、 動作評価室、診療室、他	
老人保健施設 (老人保健施設)	RC造 4階 塔屋	4,361.29	事務室、食堂、浴室、他 療養室(48室)計100人	
篠山キャンパス 看護師宿舍 (共同住宅)	RC造 3階	869.65	宿舍(28戸)	
ささやまみらい (寄宿舍)	木造 2階	680.29	学生宿舍	
合 計		22,247.20		36,862.84

○ 神戸キャンパス

建物区分	規 模 ・ 構 造	延 床 面 積 登記 (㎡)	使 用 区 分	所在地 及び 敷地面積 (㎡)
P 棟 (校舎)	SRC造 3階	8,753.86	管理部門、講堂、図書館、食堂、 売店、グループ学習室、保健室	神戸市中央区港島 49,138.00
M 棟 (校舎)	SRC造 4階	17,025.71	講義室、学生実習室、教員研究室、 カンファレンス室	
G 棟 (校舎)	SRC造 4階	9,296.26	研究室、動物実験室、RI実験室、 共同医学研究室、リハビリテーションラボ、 教員研究室、カンファレンス室、 学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院研究室	
G棟アリーナ (体育館)	RC造 2階	2,792.26	アリーナ、部室、多目的室	
倉庫 (倉庫)	RC造 平屋建	125.06	倉庫	
守衛室 (守衛所)	RC造 平屋建	4.20	警備員詰所	
合 計		37,997.35		49,138.00

土地・建物の状況

○ 梅田キャンパス

建物区分	規 模 ・ 構 造	延 床 面 積 登記 (㎡)	使 用 区 分	所在地
梅田健康医学クリニック	S造・一部SRC・RC構造 地下3階地上38階塔屋2階 13階部分	1,143.11	クリニック	大阪市北区梅田 大阪梅田ツイン タワーズ・サウス13階 (賃貸)
合 計		1,143.11		

3. 大 学

○ 補助金等

1. 2024 年度 私立大学等経常費補助金

(単位：千円)

	一般補助	特別補助	合計	(参考)	
				2023 年度	2022 年度
兵庫医科大学	1,589,290	130,387	1,719,677	1,635,358	2,036,817

2. 2024 年度 私立大学等改革総合支援事業

私立大学等改革総合支援事業については、「タイプ 1：特色のある教育の展開」、「タイプ 3：地域社会の発展への貢献（地域連携型）」、「タイプ 4：社会実装の推進」が選定された。選定結果は下記のとおりである。

	得点
タイプ 1: 特色のある教育の展開	72 点／満点 97 点 ※選定基準 70 点以上
タイプ 3: 地域社会の発展への貢献(地域連携型)	46 点／満点 60 点 ※選定基準 41 点以上
タイプ 4: 社会実装の推進	45 点／満点 58 点 ※選定基準 35 点以上

3.1 西宮キャンパス

○ 公益財団法人 日本高等教育評価機構(JIHEE)による大学機関別認証評価

すべての大学は、学校教育法第 109 条に基づき、文部科学大臣の認証を受けた認証評価機関による評価（認証評価）受けることが義務付けられており、兵庫医科大学は、公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価の結果、2025 年 3 月 13 日付で同機構が定める評価基準に適合していると認定された。（認定期間：2024 年 4 月～2031 年 3 月）

そのなかでは、「創立 50 周年や大学統合を契機に、建学の精神を根幹に創業者の理念を受継ぐべく定めたスローガン『EMPOWER THE PEOPLE』をはじめ『ユニバーシティ・アイデンティティ』は、学生・教職員に広く浸透し、大学の将来計画の実現への羅針盤となっている点は評価できる」をはじめとする計 7 点を優れた点として、高い評価を得た。

○ 基幹教員制度への対応

令和 4 年度大学設置基準の改正において「基幹教員制度」が導入されたことから、文部科学省による毎年の医学部の地域枠、研究医枠に係る収容定員増に関する認可申請等に対応するため、医学部講師以上の教員が本学の教育課程の編成に参画する体制として既存の西宮キャンパス教務委員会に「医学部拡大教務委員会」を新設した。

○ 新カリキュラムの適用

2024 年度入学生より、医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和 4 年度改訂版）が適用されることに伴い、同モデル・コア・カリキュラムの内容を反映した医学部の新カリキュラムを第 1 学年次学生が履修した。

○ 臨床教育の充実

医系総合大学として実践的な多職種連携教育（IPE）の更なる充実を図るため、医、薬、看護、リハビリテーションの4学部第2学年次学生合同による多職種連携の一日体験演習（災害医療対応）を実施した。

また、4学部合同による臨床実習の一部として導入された「多職種連携総合臨床実習」について、従来のささやま医療センターでの実施に加えて兵庫医科大学病院でも実施し、より多くの学生が参加できるよう整備した。

○ 第14回(令和6年度)関西4私大学長(医学部長)・病院長連絡会

2025年2月27日にZoomによるオンライン開催にて、第14回関西4私大学長（医学部長）・病院長連絡会を開催した。本学が幹事校として、関西医科大学、大阪医科大学、近畿大学の学長（医学部長）、病院長が「医師の勤怠管理について」、「特定行為看護師・診療看護師の現状と活用について」、「基幹教員制度への対応について」、「SA（student assistant）制度の導入について」を議題として、情報交換を行った。

○ 医師国家試験

1. 本学の状況

区分		新卒			既卒			計		
本年度		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
		109	108	99.1%	1	1	100%	110	109	99.1%
(参考)	2023年度	111	110	99.1%	3	3	100%	114	113	99.1%
	2022年度	111	109	98.2%	4	3	75.0%	115	112	97.4%

2. 全国の状況(合格率)

新卒・既卒別 私立・全国別	新 卒	既 卒	計
私 立 平 均	95.0%	66.4%	93.3%
全 国 平 均	95.0%	59.0%	92.3%

○ 2024年度 医学部進級(卒業)認定数等

学年次	学生数	進級(卒業)	留 年	退 学	除 籍
1	125	108	15	2	0
2	125	117	8	0	0
3	117	112	5	0	0
4	115	109	6	0	0
5	109	100	9	0	0
6	111	109	2	0	0
計	702	655	45	2	0

※第1学年次退学者数は年度途中退学者を含む。

(参考)年度別 留年・退学等状況 (2018～2024 年度)

年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
学生数	708	704	699	705	705	703	702
留年	42	41	50	54	60	54	45
退学	2	6	5	4	3	2	2
除籍	0	0	0	0	0	0	0
進級(卒業)率	93.8%	93.3%	92.1%	91.8%	91.1%	92.0%	93.3%

○ 医学部学生数 (2025 年 4 月 5 日現在)

1 学年次	2 学年次	3 学年次	4 学年次	5 学年次	6 学年次	合計
126	116	122	118	118	102	702

○ 2025 年度 医学部入学試験

区 分	募集人員	出願者数	第 1 次試験 合格者数	合格者数	入学者数
総合型選抜(卒業生子女枠)	3	30	—	3	3
総合型選抜(一般枠)	5	100	—	9	9
総合型選抜(国際バカロレア枠)	2	2	—	0	0
学校推薦型選抜(特別選抜)	3	3	—	3	3
学校推薦型選抜(一般公募制)	12	110	—	16	16
学校推薦型選抜(地域指定制)	5	34	—	5	5
一般選抜(A4 科目型)	72	1983	361	176	66
一般選抜(B 高大接続型)	10	399	89	17	10
合 計	112	2661	450	229	112

○ 2025 年度 大学院医学研究科入学試験

(1) 前期募集

区分	人数	内 訳							
		医 科 学 専 攻					先 端 医 学 専 攻		
		器官・代謝制御系	高次神経制御系	生体応答制御系	生体再生制御系	環境病態制御系	分子病態制御系	疼痛情報制御系	分子再生医学系
出願者	13	8	3	1	0	1	先端医学専攻 募集停止		
受験者	13	8	3	1	0	1			
合格者	13	8	3	1	0	1			
入学者	12	8	2	1	0	1			

(2) 後期募集

区分	人数	内 訳							
		医 科 学 専 攻					先 端 医 学 専 攻		
		器官・代謝制御系	高次神経制御系	生体応答制御系	生体再生制御系	環境病態制御系	分子病態制御系	疼痛情報制御系	分子再生医学系
出願者	30	7	13	6	0	4	先端医学専攻 募集停止		
受験者	30	7	13	6	0	4			
合格者	30	7	13	6	0	4			
入学者	30	7	13	6	0	4			

○ 大学院医学研究科学生数（2025 年 4 月 1 日現在）

分野	1 年	2 年	3 年	4 年	合計
医科学専攻	46	37	43	66	192
合計	46	37	43	66	192

	専 攻	学 年	学 生 数	内 訳	
				昼間履修	夜間履修
医科学専攻	器官・代謝制御系	1	16	1	15
		2	12	2	10
		3	16	2	14
		4	17	3	14
	高次神経制御系	1	15	2	13
		2	17	3	14
		3	14	1	13
		4	33	0	33
	生体応答制御系	1	8	4	4
		2	3	0	3
		3	8	3	5
		4	11	2	9
	生体再生制御系	1	0	0	0
		2	1	0	1
		3	0	0	0
		4	2	0	2
	環境病態制御系	1	7	0	7
		2	4	0	4
		3	5	0	5
		4	3	0	3
			192	23	169

※先端医学専攻については 2025 年 4 月 1 日より廃止。

○ 学位の授与

甲 号(26 名)、乙 号(5 名)

学位授与累計 甲 1090 号 乙 451 号

○ 研究費

1. 2024 年度 科学研究費助成事業

(単位:円)

研究種目名		件数			総交付額
			直接経費	間接経費	
基盤研究(A)(※)		1	696,780	209,034	905,814
基盤研究(B)		11	38,300,000	11,490,000	49,790,000
基盤研究(C)		96	106,900,000	32,070,000	138,970,000
挑戦的研究(萌芽)		2	2,900,000	870,000	3,770,000
若手研究		33	34,600,000	10,380,000	44,980,000
研究活動スタート支援		5	5,500,000	1,650,000	7,150,000
奨励研究		3	1,230,000	0	1,230,000
合 計		151	190,126,780	56,669,034	246,795,814
(参考)	2023 年度	149	189,310,000	56,175,000	245,485,000
	2022 年度	155	197,241,201	58,290,000	255,531,201

※2024/12/1 転入時受入れ額

2. 2024 年度 厚生労働科学研究費

(単位:円)

研究事業名		件数			総交付額
			直接経費	間接経費	
エイズ対策政策研究事業		1	8,200,000	2,460,000	10,660,000
(参考)	2023 年度	1	8,200,000	2,460,000	10,660,000
	2022 年度	1	7,161,000	2,148,000	9,309,000

3. 2024 年度 厚生労働省 労災疾病臨床研究補助金

(単位:円)

研究事業名		件数			総交付額
			直接経費	間接経費	
労災疾病臨床研究事業		1	86,932,000	26,079,000	113,011,000
(参考)	2023 年度	0	—	—	—
	2022 年度	0	—	—	—

4. 2024 年度 日本医療研究開発機構(AMED)研究費

(単位:円)

研究事業名		件数	経費		総交付額
			直接経費	間接経費	
創薬支援推進事業 創薬総合支援事業		1	4,545,455	454,545	5,000,000
研究公正高度化モデル開発支援事業		1	9,000,000	2,700,000	11,700,000
医療機器等研究成果展開事業		1	20,000,000	6,000,000	26,000,000
橋渡し研究プログラム シーズ Cb		1	80,000,000	24,000,000	104,000,000
難治性疾患実用化研究事業		1	20,000,000	6,000,000	26,000,000
合 計		5	133,545,455	39,154,545	172,700,000
(参考)	2023 年度	5	156,902,099	44,597,901	201,500,000
	2022 年度	3	30,476,365	6,415,635	36,892,000

○ 補助金等

1. 2024 年度エコチル調査委託事業精算金(環境省)

(単位:円)

環境省委託事業名		件数	経費		総交付額
			直接経費	一般管理費	
エコチル調査		1	90,176,087	13,498,541	103,674,628
(参考)	2023 年度合計	1	87,067,806	13,032,311	100,100,117
	2022 年度合計	1	95,732,998	14,332,687	110,065,685

2. 2024 年度次世代のがんプロフェッショナル養成プラン補助金分配金(文部科学省)

(単位:円)

研究事業名		件数	経費		本学分配額
			各部署配分額	事務経費	
次世代のがんプロフェッショナル養成プラン		1	6,447,288	1,122,712	7,570,000
(参考)	2023 年度合計	1	5,288,906	2,560,094	7,849,000
	2022 年度合計	1	(※)	(※)	(※)

(※) 2022 年度は文部科学省が予算確保できなかったため、補助金分配金は無し。

3.2 神戸キャンパス

○ 公益財団法人 日本高等教育評価機構(JIHEE)による大学機関別認証評価

兵庫医科大学は、日本高等教育評価機構（JIHEE）の大学機関別認証評価を受け、2024年11月5日（火）から7日（木）の3日間、実地調査が行われ、2025年3月に同評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定された。認定期間は、2024年4月～2031年3月までの7年間である。

○ 看護学研究科、リハビリテーション科学研究科の博士後期課程設置申請

看護学研究科及びリハビリテーション科学研究科の博士後期課程設置申請について、2024年8月29日付けにて文部科学省より認可を受けた。

○ その他の活動

1. 学生募集広報の強化ならびに高大連携の深化(神戸 C)

- ・探究活動支援を継続的に実施しており、探究活動研究発表会の概要をアドミッションセンター・神戸キャンパス入試センター合同会議にて確定し、3月26日当該発表会（HMU High School Awards 2024）を開催した。（発表：10組）
- ・高大連携プログラムの概要を連携校に対して通知し、高大連携プログラムを7月15日（月・祝日）に開催した。また、高大連携プログラムの一環として、兵庫医科大学病院の見学会（高大連携校対象）を企画し、2月15日（土）、3月15日（土）に見学会を開催した。
- ・第2期（2025年4月～2028年3月）の連携校について、アドミッションセンターにて選定のうえ見直しを行い、各高等学校に打診した。（連携校：25校→27校）
- ・全学・看護学部・理学療法学科の動画が完成し、受験生サイトで公開した。今後は、オープンキャンパス等のイベントでも活用する。また、IPE、兵庫医科大学病院における全学実習の取り組みについて大学案内を中心に展開し、校内ガイダンス、オープンキャンパス等で周知した。
- ・新たな高校訪問地域として、福井県、福岡県の高校を訪問した。（地方向け冊子を作成し、地方の高校訪問時に活用した。）また、昨年度から薬学部指定校に指定している中四国の高校（訪問校）から薬学部学校推薦型選抜（指定校制）への出願があった。
- ・9・10月の高校訪問では、連携校・重点校・地方校に加え、一部の一般校（6・7月訪問の状況を踏まえて選定）、新規の高校に訪問した。
- ・12月に兵庫県・大阪府の予備校（総合）を再度訪問し、一般選抜、大学入学共通テスト利用入試について周知した。

国家試験

第110回 薬剤師国家試験

区 分	6 年 制 新 卒			6 年 制 既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%=>	受験者数	合格者数	合格率<%=>
本 学	66	55	83.3	108	51	47.2
本学(2023年度)	77	65	84.4	106	51	48.1
本学(2022年度)	97	80	82.5	111	44	39.6
全 国	8,061	6,849	85.0	5,249	2,315	44.1

第 114 回 看護師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率< % >	受験者数	合格者数	合格率< % >
本 学	108	108	100.0	2	2	100.0
本学(2023 年度)	101	99	98.0	1	1	100.0
本学(2022 年度)	102	101	99.0	1	1	100.0
全 国	56,035	53,718	95.9	7,096	3,188	44.9

第 111 回 保健師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率< % >	受験者数	合格者数	合格率< % >
本 学	23	22	95.7			
本学(2023 年度)	28	28	100.0			
本学(2022 年度)	30	30	100.0			
全 国	7,308	7,045	96.4	350	151	43.1

第 108 回 助産師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率< % >	受験者数	合格者数	合格率< % >
本 学	6	6	100.0			
本学(2023 年度)	6	6	100.0			
本学(2022 年度)	6	6	100.0			
全 国	2,024	2,009	99.3	26	18	69.2

第 60 回 理学療法士国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率< % >	受験者数	合格者数	合格率< % >
本 学	47	47	100.0			
本学(2023 年度)	41	41	100.0			
本学(2022 年度)	44	44	100.0	1	1	100.0
全 国	11,583	11,027	95.2	1,108	346	31.2

第 60 回 作業療法士国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率< % >	受験者数	合格者数	合格率< % >
本 学	40	39	97.5	1	0	0.0
本学(2023 年度)	44	43	97.7	1	1	100.0
本学(2022 年度)	36	35	97.2	1	1	100.0
全 国	5,000	4,625	92.5	693	262	37.8

○ 進級認定数(2025 年 3 月 31 日現在)

学部・学科	学年	学生数	進級 (卒業)	留年	退学	除籍
薬学部 医療薬学科	1	135	114	9	11	1
	2	143	115	18	8	2
	3	112	87	18	5	2
	4	95	79	12	4	0
	5	97	96	1	0	0
	6	156	(116)※	40	0	0
看護学部 看護学科	1	105	103	1	1	0
	2	124	122	1	1	0
	3	111	108	3	0	0
	4	109	(108)	1	0	0
リハビリテーション学部 理学療法学科	1	42	41	1	0	0
	2	47	45	2	0	0
	3	48	46	1	1	0
	4	47	(47)	0	0	0
リハビリテーション学部 作業療法学科	1	45	44	1	0	0
	2	37	33	2	2	0
	3	39	39	0	0	0
	4	42	(40)	0	2	0
合 計		1,534	1,072 (311)	111	35	5

※秋季卒業者数 50 名を含む。

○ 学部学生数(2025 年 4 月 1 日現在)

学 部	学 科	第 1 学 年次	第 2 学 年次	第 3 学 年次	第 4 学 年次	第 5 学 年次	第 6 学 年次	合計
薬学部	医療薬学科	124	132	133	99	80	136	704
看護学部	看護学科	119	104	125	109			457
リハビリ テーション 学部	理学療法学科	47	43	46	46			182
	作業療法学科	32	46	33	39			150
合 計		322	325	337	293	80	136	1,493

○ 大学院生数(2025 年 4 月 1 日現在)

薬学 研究科	博士課程	研究指導科目分野	1 年	2 年	3 年	4 年
		臨床ゲノム薬理・分子薬物動態学	0	1	0	0
		天然薬物学	0	0	0	0
		応用医療薬学	0	1	0	1
		レドックス生物学・免疫制御学	0	0	0	1
		神経病態制御学	0	0	0	0
		医薬品化学	0	0	0	0
		創薬化学	0	0	0	0
		臨床医薬品化学	0	2	3	3
		微生物・寄生体学	0	0	0	0
		微生物制御学	0	0	0	0
		呼吸器疾患病態治療学	0	0	0	1
		合 計	0	4	3	6

看護学 研究科	博士前期課程	分野	特定分野	1 年	2 年		
		基盤看護学	基礎看護学	0	2		
			看護教育学	0	0		
			看護開発科学	0	0		
		療養支援看護学	急性看護学	1	3		
			がん看護学	1	1		
			慢性看護学	2	3		
			精神看護学	0	0		
		家族支援看護学	小児看護学	0	0		
			母性看護学	0	1		
			助産学	1	1		
		生活支援看護学	老年看護学	0	0		
	地域看護学		0	0			
	在宅看護学		1	3			
	合 計			6	14		
	博士後期課程	分野			1 年	2 年	3 年
		看護実践開発科学			4	—	—
合 計			4	—	—		

リハビリテーション科学研究科	修士課程	分野	特定分野	1 年	2 年		
		病態運動学	運動器障害	1	2		
			内部障害	4	4		
			神経障害	3	2		
		人間活動科学	身体・認知活動	0	1		
			精神活動	1	1		
		合 計			9		10
	博士後期課程	分野			1 年	2 年	3 年
		リハビリテーション科学			6	—	—
		合 計			6	—	—

○ 2025 年度各学部入学試験

1. 薬学部

区分		募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合型選抜	一般枠	5	12	12	9	9
	卒業生子女枠	2	0	0	0	0
	高大接続枠	3	0	0	0	0
学校推薦型選抜	指定校制	11	13	13	13	13
	特別選抜	3	0	0	0	0
	(一般公募制) 専願前期日程	15	16	16	14	14
	(一般公募制) 専願後期日程	3	4	4	2	2
	(一般公募制) 併願 A 日程	15	51	50	43	16
	(一般公募制) 併願 B 日程	15	52	50	40	12
	(一般公募制) 併願 C 日程	8	14	14	13	6
一般選抜	前期日程(3 科目型)	30	72	71	60	17
	前期日程(2 科目型)	20	43	41	35	12
	中期日程	10	25	17	14	7
	後期日程	4	6	5	5	1
大学入学共通 テスト利用入試	前期日程	4	47	45	42	4
	後期日程	2	4	4	4	2
合 計		150	359	342	294	115

2. 看護学部

区分		募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合型選抜	一般枠	7	71	70	11	11
	卒業生子女枠	2	0	0	0	0
	高大接続枠	2	8	8	3	3
学校推薦型選抜	特別選抜	2	0	0	0	0
	(一般公募制) 専願前期日程	17	100	98	30	30
	(一般公募制) 併願 A 日程	5	121	120	33	13
	(一般公募制) 併願 B 日程	15	240	240	79	25
一般選抜	前期日程(3 科目型)	26	166	164	45	16
	前期日程(2 科目型)	13	209	205	42	13
	後期日程	5	65	64	5	4
大学入学共通 テスト利用入試	前期日程	3	62	62	23	3
	後期日程	3	11	11	1	0
合 計		100	1053	1042	272	118

3. リハビリテーション学部

(1) 理学療法学科

区分		募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合型選抜	一般枠	5	34	34	6	6
	卒業生子女枠	1	0	0	0	0
	高大接続枠	2	2	2	1	1
学校推薦型選抜	指定校制	2	0	0	0	0
	特別選抜	1	0	0	0	0
	(一般公募制) 専願前期日程	10	58	58	17	17
	(一般公募制) 併願 B 日程	4	82	82	16	5
一般選抜	前期日程(3 科目型)	7	64	64	14	6
	前期日程(2 科目型)	4	75	75	15	5
	後期日程	1	18	17	4	4
大学入学共通 テスト利用入試	前期日程	2	30	30	6	1
	後期日程	1	10	10	4	1
合 計		40	373	372	83	46

(2) 作業療法学科

区分		募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合型選抜	一般枠	4	17	17	8	8
	卒業生子女枠	1	0	0	0	0
	高大接続枠	2	1	1	1	1
学校推薦型選抜	指定校制	2	0	0	0	0
	特別選抜	1	0	0	0	0
	(一般公募制)専願前期日程	11	16	16	13	13
	(一般公募制)併願B日程	6	20	20	14	3
一般選抜	前期日程(3科目型)	7	16	16	14	5
	前期日程(2科目型)	3	9	9	6	1
	後期日程	1	0	0	0	0
大学入学共通 テスト利用入試	前期日程	1	7	7	5	0
	後期日程	1	0	0	0	0
合 計		40	86	86	61	31

○ 2025 年度 大学院入学試験

研究科名		区分	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
薬学研究科	博士課程	I 期	3	0	0	0	0
		II 期	若干名	0	0	0	0
看護学研究科	博士前期課程	I 期	8	6	6	5	5
		II 期	若干名	2	2	1	1
	博士後期課程	—	2	5	5	4	4
リハビリテーション 科学研究科	修士課程	I 期	8	14	14	9	9
	博士後期課程	—	2	7	7	6	6

○ 研究費

1. 2024 年度科学研究費助成事業獲得実績

(単位:千円)

研究種目名		件数	直接経費	間接経費	交付額
基盤研究(B)		4	16,600	4,980	21,580
基盤研究(C)		39	30,500	9,150	39,650
若手研究		11	10,000	3,000	13,000
研究活動スタート支援		2	1,800	540	2,340
合 計		56	58,900	17,670	76,570
(参考)	2023 年度合計	44	42,500	12,750	55,250
	2022 年度合計	42	46,600	13,980	60,580

○ 2024 年度就職状況

学部		薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
学科		医療薬学科	看護学科	理学療法学科	作業療法学科
卒業者数 ※1		115	108	47	40
内訳	就職者数	69	106	46	39
	進学者数	2	1	1	0
	その他 ※2	44	1	0	1

※1 2024 年度秋季卒業生を含む。

※2 国家試験や就職に向けて準備中または不明の者

4. 病院 西宮キャンパス

○ オンライン紹介予約を開始

2024年5月1日よりオンライン紹介予約の運用を開始した。オンライン紹介予約は17診療科（循環器内科、血液内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、消化管内科、呼吸器内科、腎・透析内科、皮膚科、上部消化管外科、下部消化管外科、炎症性腸疾患外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、形成外科、歯科口腔外科、中皮腫センター、肥満症センター）でスタートした。利用申請医療機関は2025年3月31日現在で281件となっている。オンライン紹介予約は開始以降徐々に増加してきており、3月単月でのオンライン予約対象診療科へのクリニックからのオンライン予約利用率は6.7%となっている。

○ 2024年度医師臨床研修マッチングの最終結果が100%

この「研修マッチング」は医師臨床研修マッチング協議会によって、研修希望者と研修プログラム（研修先医療機関）とを効率かつ透明性を確保して組み合わせるためのシステムである。

医学生がどれだけ本学病院での研修を希望しているかの指標となるものだが、2024年度、マッチング協議会の最終発表で、本学病院は募集定員55名に対し100%のマッチ率（募集定員に対するマッチ者数の割合）となった。なお、医療従事者専用サイトによる大学病院本院ごとの集計結果でマッチ率100%となったのは、全国81大学病院（防衛医大は除く）のうち19施設のみである。

○ COVID-19 感染症対応

2024年4月22日	職員の新型コロナウイルス感染症に関する濃厚接触者の就業前検査対象者について、全職員対象から「病院職員のうち入院患者と直接接触する者」へ変更した。
2024年6月24日	EICU・CCU病棟（重症）及び8・2病棟の一部（中等症以下）をコロナ病床として実運用の中、陽性者（中等症以下）の急増に伴い、13階東病棟の一部をコロナ陽性者の対応病床として運用開始
2024年7月5日	13階東病棟のコロナ対応病床の解除。
2024年8月13日	1号館1階東側玄関 封鎖措置の解除
2025年1月1日	8号館2階病棟のコロナ病床（16床）を解除。通常運用（精神病床）へ移行

○ 補助金等

（単位：円）

年度		金額
2024年度合計		389,223,600
（参考）	2023年度合計	1,099,684,400
	2022年度合計	2,709,568,000

○ 患者数実績

			対前年度
入院患者数	延患者数(在院+退院)	294,328 人	101.6%
	一日平均	806.4 人	101.9%
	平均在院日数(一般)	11.7 日	+0.3 日
	平均在院日数(全体)	11.9 日	+0.3 日
外来患者数	延患者数	616,724 人	98.4%
	一日平均	2399.7 人	103.3%

5. 篠山キャンパス

○ 公益財団法人日本医療機能評価機構による審査

兵庫医科大学ささやま医療センターは、公益財団法人日本医療機能評価機構の審査を受け、2024年6月25日（火）、26日（水）の2日間訪問審査が行われ、2025年2月、主たる機能種別「一般病院1」及び副機能種別「リハビリテーション病院」が認定と判定された。

○ 地域の介護事業所との連携強化

新たに複数の介護事業所と協定を締結し、情報共有することで入院患者獲得につなげている。レスパイト入院の勉強会を通じて、地域との連携を強化することで、相談・入院件数ともに増加基調となった。また、病院と老人保健施設が一体となって紹介患者獲得の前方支援だけでなく、退院調整等の後方支援でも連携強化を図った。

○ 補助金等

			(単位:円)
年度			金額
2024年度合計			198,254,762
(参考)	2023年度合計		461,362,614
	2022年度合計		998,505,495

○ 患者数実績

1. ささやま医療センター

			対前年度
入院患者数	延患者数(在院+退院)	39,849 人	96.0%
	1 日 平均	109.2 人	96.2%
	平均在院日数(一般)	14.9 日	+1.3 日
	平均在院日数(回復期リハ)	56.4 日	+4.8 日
外来患者数	延患者数	49,495 人	94.6%
	1 日 平均	203.7 人	94.6%

※外来患者数には入院中外来患者を含む。

2. 老人保健施設

			対前年度
入所利用者数	延利用者数(長期+短期)	35,216 人	100.1%
	1 日 平均(全体)	96.4 人	100.6%
	平均利用日数(長期)	200.8 日	+2.7 日
	平均利用日数(短期)	6.8 日	+0.6 日
通所利用者数	延利用者数	11,240 人	88.8%
	1 日 平均	44.6 人	88.7%

3. 居宅サービスセンター

			対前年度
訪問看護	利用者数	1,266 人	88.4%
	訪問回数	6,622 回	98.3%
訪問介護	利用者数	189 人	102.2%
	訪問回数	1,321 回	105.7%
定期巡回	利用者数	138 人	94.5%
	介護訪問回数	5,292 回	86.3%
	看護訪問回数	242 回	78.6%
居宅介護支援	件数	2,090 件	106.2%

6. 梅田キャンパス

○ 内視鏡検査件数が年間 6,000 件を突破

ニーズの高い内視鏡検査（胃カメラ、大腸カメラ）については医師を中心とした最大限の受け入れ体制を整えることで、保険診療と自費診療（人間ドック、健康診断）をあわせ、6,120 件の検査を実施した。

○ 大阪梅田ツインタワーズ・サウスで開催されたイベントでの講演

前年度に引き続き今年度は本院の上部消化管外科、リハビリテーション技術部、臨床栄養部協力のもと「今日から実践！食と身体のヘルスデザイン」をテーマに開催することで、約 100 名のオフィスワーカーの方に参加いただいた。

○ 患者数実績

		2023 年度	2024 年度	対前年度
人間ドック健診者数	延健診者数	4,747 人	5,321 人	112.1%
	一日平均	16.3 人	19.9 人	122.1%
生活習慣病予防健診者数	延健診者数	1,294 人	1,556 人	120.2%
	一日平均	4.4 人	5.8 人	131.8%
企業健診者数	延健診者数	2,835 人	3,422 人	120.7%
	一日平均	9.7 人	12.8 人	132.0%
クリニック患者数	延患者数	11,628 人	16,741 人	144.0%
	一日平均	41.5 人	62.7 人	151.1%

Ⅲ 財務の概要

○ 2024 年度決算について

1. 概要

2024 年度は、新病院棟建設や持続的な投資を可能とする財務基盤の強化に向けて、基本金組入前当年度収支差額 1,954 百万円を期初予算に計上した。前年度に引き続き、不安定な国際情勢や円安進行による物価高騰、コロナ関連の公的支援の終了、人件費負担増などのマイナス要因が重なる中、医療収支の改善に加え、業務運営の効率化や経費コントロールへの取り組みを一層強化した結果、基本金組入前当年度収支差額は前年度比 1,346 百万円減の 2,730 百万円と表面上大幅減益となったが、コロナ補助金関連影響を除いた実力ベースでは、ほぼ前年度水準を確保する決算となった。

2. 事業活動収支計算書(表 1・2 及びグラフ)

<教育活動収支>

① 教育活動収入

教育活動収入は 61,843 百万円となり、前年度比 659 百万円の減収となった。学生納付金は、薬学部の学生数減などの影響で前年度比 102 百万円減収となったが、教育活動収入の大半を占める西宮本院の医療収入は、外来患者数の減少、外来単価の下落があったものの、入院延患者数の増加、入院単価の上昇が寄与し、前年度比 785 百万円増の 45,521 百万円となった。

一方で、経常費等補助金は、感染症対策に係る補助金が前年度比 1,240 百万円減少したため、2,401 百万円と前年度比 1,057 百万円の大幅な減収となった。

② 教育活動支出

教育活動支出は 59,500 百万円となり、前年度比 736 百万円の増加となった。

人件費は、看護職員の減少などによる負担減があったものの、処遇改善を目的としたベースアップの実施、退職給付関連費用の増加などにより、前年度比 232 百万円増の 23,826 百万円となった。

教育研究経費は、減価償却額、奨学金などが減少したものの、修繕費、損害保険料、旅費交通費などが増加したため、前年度比 36 百万円増の 4,906 百万円となった。

また、医療経費は、診療稼働水準の改善に加えて、物価高騰の影響による業務委託費や医療用消耗品費などの増加によって、前年度比 372 百万円増の 29,365 百万円となった。

この結果、医療収支差額は前年度比 377 百万円改善して 19,857 百万円となった。

<教育活動外収支>

教育活動外収支は、金利上昇に伴い借入金利息が増加したものの、有価証券の積み増しや運用利回り向上により受取利息・配当金収入が増加したため、前年度比 66 百万円増の 333 百万円となった。

<特別収支>

施設設備に係る補助金や寄付金などの収入が減少したものの、一方で、固定資産処分差額が減少したことにより、特別収支は前年度比 3 百万円減の 93 百万円となった。

3. 資金収支計算書(表 3)

資金収支については、支出（資産運用支出含む）が前年度比 22,642 百万円増加したものの、収入（資産売却収入含む）が前年度比 23,585 百万円増加したため、翌年度繰越支払資金（現金預金）は、2023 年度末 14,014 百万円より 672 百万円増加し、14,686 百万円となった。

4. 貸借対照表(表 4)

2024 年度末の純資産（資産－負債）は、大幅な黒字決算を背景に前年度末比 2,730 百万円増の 92,403 百万円となった。

資産の部は、建物・機器等の減価償却が進んだ一方で、新病院棟建設に伴う建設仮勘定や資金の効率的運用による有価証券等の増加によって、前年度比 10,295 百万円増加し 127,967 百万円となった。

負債の部は、新病院建設費用の支払いに伴う借入金の増加等により、前年度比 7,565 百万円増の 35,564 百万円となった。

なお、2024 年度末の総保有資金残高は、前年度比 6,383 百万円増の 47,699 百万円となった。

5. 主要財務比率の推移(表 5)

表 5 にて財務比率の推移を表している。比率の意味、主な留意点等を表の次頁に記載している。

6. キャッシュ・フローの推移(表 6)

「教育研究活動」「施設等整備活動」「財務活動」の活動区分ごとのキャッシュ・フローの推移を表している。それぞれのキャッシュ・フロー計算書は、他の会計基準とほぼ同様の区分等の手法を採用して作成している。

表1

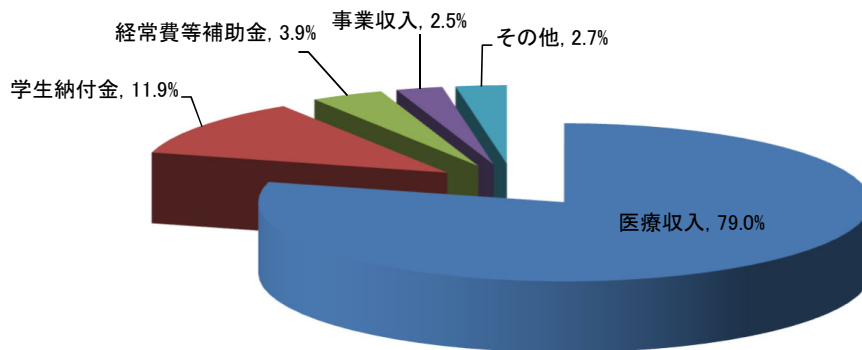
2024年度事業活動収支計算書

(単位:円)

事業活動収入の部			事業活動支出の部		
科目	金額	比率(%)	科目	金額	比率(%)
学生納付金	7,379,787,860	11.9%	人件費	23,825,742,872	40.0%
寄付金	532,935,710	0.9%	教育研究経費	4,905,534,450	8.2%
経常費等補助金	2,401,311,094	3.9%	医療経費	29,365,093,683	49.3%
事業収入	1,533,080,509	2.5%	管理経費	1,392,749,854	2.3%
医療収入	49,221,726,260	79.0%	その他	10,395,622	0.0%
その他	773,820,873	1.2%			
教育活動収入計	61,842,662,306		教育活動支出計	59,499,516,481	
受取利息・配当金等	332,603,046	0.5%	借入金等利息	38,882,781	0.1%
教育活動外収入計	332,603,046		教育活動外支出	38,882,781	
資産売却差額	0	0.0%	資産処分差額等	7,654,295	0.0%
その他の特別収入	100,493,719	0.2%			
特別収入計	100,493,719		特別支出計	7,654,295	
事業活動収入計	62,275,759,071	100.0%	事業活動支出計	59,546,053,557	100.0%
基本金組入額	△ 11,114,094,424		基本金組入前当年度収支差額	2,729,705,514	
			当年度収支差額	△ 8,384,388,910	

2024年度決算構成比率

【事業活動収入の部】



【事業活動支出の部】

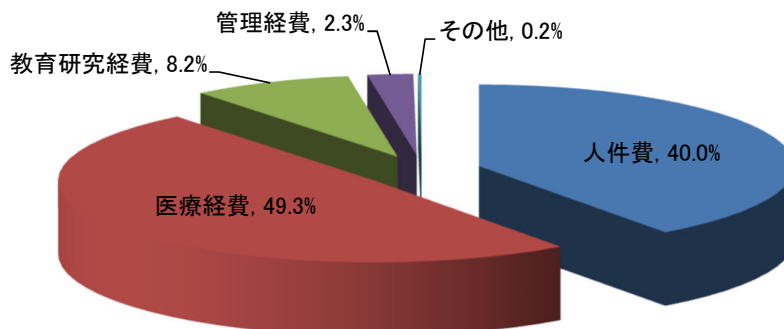


表2

事業活動収支計算書

2024年 4月 1日から
2025年 3月 31日まで

(単位:円)

事業活動収入の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
学 生 納 付 金	7,261,641,000	7,137,359,960	124,281,040	
手 数 料	229,934,000	242,427,900	△ 12,493,900	
寄 付 金	609,402,000	532,935,710	76,466,290	
経 常 費 等 補 助 金	2,241,492,000	2,401,311,094	△ 159,819,094	
国庫補助金	1,935,993,000	2,030,637,733	△ 94,644,733	
地方公共団体補助金	305,499,000	370,673,361	△ 65,174,361	
付 随 事 業 収 入	50,740,692,000	50,754,806,769	△ 14,114,769	
事 業 収 入	1,382,157,000	1,533,080,509	△ 150,923,509	
医 療 収 入	49,358,535,000	49,221,726,260	136,808,740	
雑 収 入	679,396,000	773,820,873	△ 94,424,873	
教 育 活 動 収 入 計	61,762,557,000	61,842,662,306	△ 80,105,306	
受 取 利 息 ・ 配 当 金	276,620,000	332,603,046	△ 55,983,046	
そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0	0	0	
教 育 活 動 外 収 入 計	276,620,000	332,603,046	△ 55,983,046	
資 産 売 却 差 額	0	0	0	
そ の 他 の 特 別 収 入	64,960,000	100,493,719	△ 35,533,719	
特 別 収 入 計	64,960,000	100,493,719	△ 35,533,719	
事 業 活 動 収 入 の 部 合 計	62,104,137,000	62,275,759,071	△ 171,622,071	
事業活動支出の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
人 件 費	23,866,201,000	23,825,742,872	40,458,128	
教 職 員 等 人 件 費	23,075,492,000	22,756,930,785	318,561,215	
退職給与引当金繰入額	742,389,000	973,660,387	△ 231,271,387	
退 職 金	48,320,000	95,151,700	△ 46,831,700	
教 育 研 究 経 費	5,269,266,007	4,905,534,450	363,731,557	
医 療 経 費	29,387,412,475	29,365,093,683	22,318,792	
管 理 経 費	1,505,362,890	1,392,749,854	112,613,036	
徴 収 不 能 額 等	0	10,395,622	△ 10,395,622	
教 育 活 動 支 出 計	60,028,242,372	59,499,516,481	528,725,891	
借 入 金 等 利 息	21,952,000	38,882,781	△ 16,930,781	
そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0	0	0	
教 育 活 動 外 支 出 計	21,952,000	38,882,781	△ 16,930,781	
資 産 処 分 差 額	16,381,000	5,249,537	11,131,463	
そ の 他 の 特 別 支 出	0	2,404,758	△ 2,404,758	
特 別 支 出 計	16,381,000	7,654,295	8,726,705	
[予 備 費]	[116,708,372]			
	83,291,628		83,291,628	
事 業 活 動 支 出 の 部 合 計	60,149,867,000	59,546,053,557	603,813,443	
基本金組入前当年度収支差額	1,954,270,000	2,729,705,514	△ 775,435,514	
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 9,561,477,000	△ 11,114,094,424	1,552,617,424	
当 年 度 収 支 差 額	△ 7,607,207,000	△ 8,384,388,910	777,181,910	
前 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 34,887,790,076	△ 34,887,790,076	0	
基 本 金 取 崩 額	0	0	0	
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 42,494,997,076	△ 43,272,178,986	777,181,910	

(参考)

事業活動収入計	62,104,137,000	62,275,759,071	△ 171,622,071
事業活動支出計	60,149,867,000	59,546,053,557	603,813,443

表3

資金収支計算書

2024年 4月 1日から
2025年 3月 31日まで

(単位:円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 納 付 金 収 入	7,261,641,000	7,137,359,960	124,281,040
手 数 料 収 入	229,934,000	242,427,900	△ 12,493,900
寄 付 金 収 入	630,456,000	562,081,502	68,374,498
補 助 金 収 入	2,241,492,000	2,420,750,094	△ 179,258,094
国庫補助金収入	1,935,993,000	2,049,975,733	△ 113,982,733
地方公共団体補助金収入	305,499,000	370,774,361	△ 65,275,361
資 産 売 却 収 入	0	16,700,000,000	△ 16,700,000,000
付随事業・収益事業収入	50,740,692,000	50,754,806,769	△ 14,114,769
事業収入	1,382,157,000	1,533,080,509	△ 150,923,509
医療収入	49,358,535,000	49,221,726,260	136,808,740
受取利息・配当金収入	276,620,000	332,603,046	△ 55,983,046
雑 収 入	679,396,000	762,111,283	△ 82,715,283
借 入 金 等 収 入	217,836,000	10,197,632,046	△ 9,979,796,046
前 受 金 収 入	1,099,018,000	1,030,809,826	68,208,174
そ の 他 の 収 入	11,212,031,031	10,997,269,152	214,761,879
資金収入調整勘定	△ 12,206,376,526	△ 11,380,264,448	△ 826,112,078
前年度繰越支払資金	14,014,218,557	14,014,218,557	
収入の部合計	76,396,958,062	103,771,805,687	△ 27,374,847,625
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	23,631,085,000	23,547,661,985	83,423,015
教職員等人件費支出	23,075,492,000	22,756,930,785	318,561,215
退職金支出	555,593,000	790,731,200	△ 235,138,200
教 育 研 究 経 費 支 出	4,002,755,007	3,384,546,543	618,208,464
医 療 経 費 支 出	27,041,753,475	27,024,122,044	17,631,431
管 理 経 費 支 出	1,351,967,890	1,217,410,401	134,557,489
借 入 金 等 利 息 支 出	21,952,000	38,882,781	△ 16,930,781
借 入 金 等 返 済 支 出	853,046,000	2,233,404,504	△ 1,380,358,504
施 設 関 係 支 出	8,753,563,000	7,620,285,600	1,133,277,400
設 備 関 係 支 出	903,697,070	829,167,819	74,529,251
資 産 運 用 支 出	500,000,000	22,410,843,000	△ 21,910,843,000
そ の 他 の 支 出	8,228,434,294	8,073,982,484	154,451,810
[予 備 費]	[129,891,442]		
	70,108,558		70,108,558
資金支出調整勘定	△ 7,917,279,711	△ 7,294,963,238	△ 622,316,473
翌年度繰越支払資金	8,955,875,479	14,686,461,764	△ 5,730,586,285
支出の部合計	76,396,958,062	103,771,805,687	△ 27,374,847,625

表4

貸 借 対 照 表

2025年 3月 31日

(単位:円)

資 産 の 部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産		87,246,324,322	82,934,525,633	4,311,798,689
有 形 固 定 資 産		61,912,194,396	57,307,227,919	4,604,966,477
土 地		15,581,449,731	15,581,449,731	0
建 物 ・ 構 築 物		28,176,273,193	29,988,531,376	△ 1,812,258,183
教 育 研 究 用 機 器 備 品		6,251,239,142	7,293,908,352	△ 1,042,669,210
管 理 用 機 器 備 品		99,045,182	118,643,622	△ 19,598,440
図 書		411,600,011	399,449,796	12,150,215
建 設 仮 勘 定		11,381,210,650	3,909,662,650	7,471,548,000
そ の 他		11,376,487	15,582,392	△ 4,205,905
特 定 資 産		9,281,890,000	8,777,485,000	504,405,000
退 職 給 与 引 当 特 定 資 産		1,000,000,000	1,000,000,000	0
教 育 施 設 設 備 等 引 当 特 定 資 産		200,000,000	200,000,000	0
第 2 号 基 本 金 引 当 特 定 資 産		3,510,890,000	3,006,485,000	504,405,000
第 3 号 基 本 金 引 当 特 定 資 産		4,571,000,000	4,571,000,000	0
そ の 他 の 固 定 資 産		16,052,239,926	16,849,812,714	△ 797,572,788
そ の 他		16,052,239,926	16,849,812,714	△ 797,572,788
流 動 資 産		40,720,917,676	34,737,741,791	5,983,175,885
現 金 預 金		14,686,461,764	14,014,218,557	672,243,207
有 価 証 券		15,114,300,000	9,100,000,000	6,014,300,000
そ の 他		10,920,155,912	11,623,523,234	△ 703,367,322
資 産 の 部 合 計		127,967,241,998	117,672,267,424	10,294,974,574
負 債 の 部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債		25,890,787,291	17,797,068,422	8,093,718,869
長 期 借 入 金		16,031,044,000	7,942,407,000	8,088,637,000
退 職 給 与 引 当 金		7,670,980,118	7,392,899,231	278,080,887
長 期 未 払 金		234,395,173	377,102,991	△ 142,707,818
長 期 前 受 金		1,954,368,000	2,084,659,200	△ 130,291,200
流 動 負 債		9,673,615,700	10,202,065,509	△ 528,449,809
短 期 借 入 金		746,665,046	871,074,504	△ 124,409,458
1 年 以 内 償 還 予 定 学 校 債		10,000,000	10,000,000	0
前 受 金		1,161,101,026	1,193,967,526	△ 32,866,500
そ の 他		7,755,849,628	8,127,023,479	△ 371,173,851
負 債 の 部 合 計		35,564,402,991	27,999,133,931	7,565,269,060
純 資 産 の 部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
基 本 金		135,555,144,436	124,441,050,012	11,114,094,424
第 1 号 基 本 金		123,702,254,436	113,092,565,012	10,609,689,424
第 2 号 基 本 金		3,510,890,000	3,006,485,000	504,405,000
第 3 号 基 本 金		4,571,000,000	4,571,000,000	0
第 4 号 基 本 金		3,771,000,000	3,771,000,000	0
繰越収支差額		△ 43,152,305,429	△ 34,767,916,519	△ 8,384,388,910
翌年度繰越収支差額		△ 43,152,305,429	△ 34,767,916,519	△ 8,384,388,910
純 資 産 の 部 合 計		92,402,839,007	89,673,133,493	2,729,705,514
負債及び純資産の部合計		127,967,241,998	117,672,267,424	10,294,974,574

注記 減価償却額の累計額
基本金未組入額

68,026,188,139 円
6,373,241,987 円

表5

主要な財務比率の推移

貸借対照表関係財務比率

		2020	2021	2022	2023	2024
① 固定比率	固定資産／純資産(自己資金)	104.3%	99.2%	94.1%	92.5%	94.4%
② 固定長期適合率	固定資産／純資産(自己資金)＋固定負債	82.5%	80.2%	77.5%	77.2%	73.8%
③ 流動比率	流動資産／流動負債	284.9%	299.5%	312.3%	340.5%	420.9%
④ 総負債比率	総負債／総資産	27.7%	26.4%	25.5%	23.8%	27.8%
⑤ 退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産／退職給与引当金	14.4%	13.7%	13.6%	13.5%	13.0%
⑥ 基本金比率	基本金／基本金要組入額	94.5%	96.4%	97.6%	99.1%	101.3%

・ 純資産 = 基本金 + 繰越収支差額 (自己資金 = 基本金 + 消費収支超過額)

事業活動収支計算書関係財務比率

		2020	2021	2022	2023	2024
① 人件費比率	人件費／経常収入	40.0%	38.3%	38.2%	37.6%	38.3%
② 教育研究経費比率	教育研究経費／経常収入	8.2%	8.2%	8.0%	7.8%	7.9%
③ 医療経費比率	医療経費／経常収入	42.2%	40.8%	43.3%	46.2%	47.2%
④ 借入金等利息比率	借入金等利息／経常収入	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
⑤ 基本金組入後収支比率	事業活動支出／(事業活動収入－基本金組入額)	98.8%	94.3%	95.5%	99.8%	116.4%
⑥ 学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金／経常収入	12.8%	11.9%	11.7%	11.5%	11.5%
⑦ 事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	7.7%	10.5%	6.5%	6.5%	4.4%

・ 経常収入 = 教育活動収入 + 教育活動外収入

財務数値(貸借対照表関係)

(単位:百万円)

	2020	2021	2022	2023	2024
1 固定資産	78,087	80,799	80,577	82,935	87,246
2 流動資産	25,510	29,860	34,370	34,738	40,721
3 純資産(自己資金)	74,887	81,481	85,598	89,673	92,403
4 固定負債	19,758	19,208	18,345	17,797	25,891
5 流動負債	8,953	9,970	11,005	10,202	9,674
6 総資産	103,598	110,659	114,948	117,672	127,967
7 総負債	28,711	29,178	29,350	27,999	35,564
8 退職給与引当特定資産	1,009	1,000	1,000	1,000	1,000
9 退職給与引当金	7,025	7,291	7,363	7,393	7,671
10 基本金	118,690	121,874	120,486	124,441	135,555
11 基本金要組入額	125,568	126,365	123,401	125,627	133,846

財務数値(事業活動支計算書関係)

	2020	2021	2022	2023	2024
1 人件費	23,459	23,924	24,086	23,594	23,826
2 教育研究経費	4,796	5,094	5,030	4,870	4,906
3 医療経費	24,720	25,519	27,296	28,993	29,365
4 借入金等利息	34	31	28	24	39
5 事業活動収入(帰属収入)	59,205	62,771	63,180	62,913	62,276
6 経常収入	58,609	62,493	63,027	62,768	62,175
7 事業活動収入－基本金組入額 (消費収入)	55,304	59,587	61,836	58,957	51,162
8 事業活動支出(消費支出)	54,647	56,177	59,063	58,838	59,546
9 学生生徒納付金収入	7,527	7,440	7,367	7,239	7,137

財務比率の説明

貸借対照表関係財務比率

- ① 固定比率
固定資産の純資産に対する割合で、土地、建物、施設等の固定資産にどの程度純資産が投下されているか、資金の調達源泉とその使途とを対比させる関係比率である。低い値がよい。
- ② 固定長期適合率
固定資産の、純資産と固定負債を合計した長期資金に対する割合である。低い値がよい。
- ③ 流動比率
流動負債に対する流動資産の割合。1年以内に償還しなければならない流動負債に対して、現金預金又は1年以内に現金化が可能な流動資産がどの程度用意されているかという資金流動性すなわち短期的な支払能力を判断する重要な指標の一つ。一般に金融機関等では、200%以上であれば優良とみなしており、100%を切っている場合には、流動負債を固定資産に投下していることが多く、資金繰りに窮しているとみることができる。したがって、高い値がよい。
- ④ 総負債比率
固定負債と流動負債を合計した負債総額の総資産に対する割合。この比率は、総資産に対する他人資金の比重を評価する極めて重要な関係比率である。低い値がよい。
- ⑤ 退職給与引当特定資産保有率
固定負債の中の退職給与引当金と、その他の固定資産の中の退職給与引当特定資産との関係比率である。高い値がよい。
- ⑥ 基本金比率
基本金組入対象資産額である要組入額に対する組入済基本金の割合。この比率の上限は100%であり、100%に近いほど未組入額が少ないことを示している。100%に近づくほうが望ましい。

事業活動収支計算書関係財務比率

- ① 人件費比率
人件費の経常収入に対する割合を示す重要な比率。この比率が特に高くなると経常支出全体を大きく膨張させ、経常収支の悪化を招きやすい。また、いったん上昇した人件費比率の低下を図ることは容易ではない。
- ② 教育研究経費比率
教育研究経費の経常収入に対する割合。高い値がよいが、経常収支の均衡を崩さない程度であればよい。
- ③ 医療経費比率
医療経費の経常収入に対する割合。高度な医療を提供することで、どうしても医療経費が高くなるが、効率を考えると当然低い値がよい。
- ④ 借入金等利息比率
借入金等利息の経常収入に対する割合。低い値がよい。
- ⑤ 基本金組入後収支比率
事業活動収入から基本金組入額を控除した額に対する事業活動支出が占める割合を示す比率である。一般的には、収支が均衡する100%前後が望ましいと考えられるが、臨時的な固定資産の取得等による基本金組入れが著しく大きい年度において一時的に急上昇することがあり、基本金の組入状況及びその内容を考慮して分析する必要がある。
- ⑥ 学生生徒等納付金比率
学生生徒等納付金の経常収入に占める割合である。安定的に推移することが望ましいが、一概に高い値がよいとか低い値がよいとかはいえない。ただ、高水準で納付金に依存するよりは相対的にこの比率が低いほうがよい場合もある。
- ⑦ 事業活動収支差額比率
事業活動収入に対する基本金組入前の当期収支差額が占める割合であり、この比率がプラスで大きくなるほど自己資金は充実されていることになり、経営に余裕があるものとみなすことができる。この比率がマイナスになる場合は、当年度の事業活動収入で事業活動支出を賄うことができないことを示し、基本金組入前で既に事業活動支出超過の状況にある。マイナスが大きくなるほど経営は窮迫し、いずれ資金繰りにも困難をきたすこととなる。

表6

キャッシュ・フローの推移

(単位:千円)

区分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
1. 教育研究活動によるキャッシュ・フロー					
学生納付金収入	7,526,898	7,439,940	7,366,958	7,239,035	7,137,360
手数料収入	195,836	200,796	220,925	238,861	242,428
寄付金収入	736,119	735,863	657,193	620,611	562,082
補助金収入	4,030,573	6,325,982	5,888,346	3,495,618	2,420,750
受取利息・資産運用収入	117,803	148,672	206,017	266,609	332,603
事業収入	1,751,276	1,656,141	1,501,234	1,753,451	1,533,081
医療収入	43,211,320	44,265,500	45,672,758	48,472,080	49,221,726
雑収入	437,700	799,410	753,067	768,309	762,111
前受金収入	2,459,381	1,115,202	1,087,399	1,063,676	1,030,810
その他の収入	9,223,904	10,339,431	10,136,746	12,008,274	10,914,361
資金収入調整勘定(注1)	△ 11,472,801	△ 11,390,447	△ 13,263,031	△ 12,091,364	△ 11,380,264
小計 (1)	58,218,009	61,636,490	60,227,612	63,835,160	62,777,048
人件費支出	23,341,624	23,658,192	24,013,471	23,563,735	23,547,662
教育研究経費支出	24,915,732	26,490,608	28,318,898	29,810,365	30,408,669
教育研究経費支出	2,923,676	3,340,334	3,375,485	3,202,214	3,384,547
医療経費支出	21,992,057	23,150,275	24,943,413	26,608,151	27,024,122
管理経費支出	1,420,577	1,399,699	1,273,916	1,122,154	1,217,410
借入金等利息支出	34,451	31,188	27,878	24,281	38,883
その他の支出	6,731,104	6,298,253	7,334,144	8,532,869	7,765,977
資金支出調整勘定(注2)	△ 6,183,581	△ 7,378,948	△ 8,387,921	△ 7,994,906	△ 7,294,963
小計 (2)	50,259,907	50,498,992	52,580,386	55,058,498	55,683,638
教育研究活動による正味キャッシュ・フロー1 {(1)-(2)}	7,958,102	11,137,498	7,647,226	8,776,662	7,093,410
2. 施設等整備活動によるキャッシュ・フロー					
資産売却収入(動産・不動産売却収入)	0	0	5,888	2,689	0
小計 (3)	0	0	5,888	2,689	0
施設関係支出	1,602,474	702,639	1,209,455	3,118,236	7,620,286
設備関係支出	2,155,833	1,449,746	1,927,811	1,264,341	829,168
小計 (4)	3,758,307	2,152,385	3,137,266	4,382,577	8,449,454
施設等整備活動によるキャッシュ・フロー2 {(3)-(4)}	△ 3,758,307	△ 2,152,385	△ 3,131,378	△ 4,379,888	△ 8,449,454
事業正味キャッシュ・フロー(1+2)	4,199,795	8,985,113	4,515,848	4,396,774	△ 1,356,044
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー					
短期借入金純増加額	△ 39,834	52,635	△ 34,465	△ 8,431	△ 124,409
長期借入金収入	891,000	0	0	0	10,000,000
長期借入金返済支出	1,190,870	670,490	661,670	635,210	1,911,363
小計 (5)	△ 339,704	△ 617,855	△ 696,135	△ 643,641	7,964,228
有価証券売却収入	6,049,318	3,225,228	1,000,000	2,000,000	16,700,000
有価証券購入支出	8,910,890	10,800,000	4,583,250	5,809,807	22,410,843
小計 (6)	△ 2,861,572	△ 7,574,772	△ 3,583,250	△ 3,809,807	△ 5,710,843
その他の収入	121,094	85,551	80,456	99,073	82,908
その他の支出	351,460	354,734	367,341	312,593	308,005
小計 (7)	△ 230,366	△ 269,183	△ 286,885	△ 213,520	△ 225,097
引当資産から支払資金へ	2,376	9,704	1,001,000	0	0
支払資金から引当資産へ	505,973	0	500,000	0	0
小計 (8)	△ 503,597	9,704	501,000	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー3 {(5)+(6)+(7)+(8)}	△ 3,935,239	△ 8,452,106	△ 4,065,270	△ 4,666,968	2,028,288
繰越支払資金の増加額 A (1+2+3)	264,556	533,007	450,578	△ 270,194	672,244
前年度繰越支払資金 B	13,036,269	13,300,825	13,833,832	14,284,410	14,014,216
次年度繰越支払資金 (A+B)	13,300,825	13,833,832	14,284,410	14,014,216	14,686,460

注1. 資金収入調整勘定: 前期末前受金、期末未収入金

注2. 資金支出調整勘定: 前期末前払金、期末未払金、期末長期未払金

財産目録

I 資産総額	127,967,241,998 円
内 基本財産	62,049,308,284 円
運用財産	65,917,933,714 円
収益事業用財産	0 円
II 負債総額	35,564,402,991 円
III 正味財産	92,402,839,007 円

区分	金額
資産額	
1 基本財産	62,049,308,284 円
土地	155,406.14 m ² 15,581,449,731 円
建物	217,423.78 m ² 27,745,750,954 円
図書	81,011 冊 411,600,011 円
教具・校具・備品	20,830 点 6,350,284,324 円
その他	11,960,223,264 円
2 運用財産	65,917,933,714 円
現金預金	14,686,461,764 円
その他	51,231,471,950 円
3 収益事業用財産	0 円
資産総額	127,967,241,998 円
負債額	
1 固定負債	25,890,787,291 円
長期借入金	16,031,044,000 円
その他	9,859,743,291 円
2 流動負債	9,673,615,700 円
短期借入金	746,665,046 円
その他	8,926,950,654 円
負債総額	35,564,402,991 円
正味財産(資産総額－負債総額)	92,402,839,007 円

※1 基本財産: 学校法人の設置する私立学校に必要な施設及び設備又はこれらに要する資金

※2 運用財産: 学校法人の設置する私立学校の経営に必要な財産

2024年度監事監査報告書

2025年5月29日

学校法人 兵庫医科大学
理 事 会 御中
評 議 員 会 御中

監 事 森 田 泰 夫 
監 事 正 木 義 博 
監 事 須 藤 研 了 

私たちは、旧私立学校法（2023年5月8日施行）第37条第3項及び学校法人兵庫医科大学旧寄附行為（2024年4月1日施行）第17条の規定に基づき、学校法人兵庫医科大学旧監事監査規程（2020年4月1日施行）（以下「旧監事監査規程」という）により、学校法人兵庫医科大学の2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。その方法及び結果について以下のとおり報告いたします。

1、監査の方法

私たちは監査にあたり、理事会、評議員会、常務会、経営常務会及びその他重要会議に出席するほか、2024年度監事監査計画で取り上げた各項目に係る業務の状況について、各担当理事その他からの状況の聴取または書面提出及び内部監査室から内部監査の報告の聴取並びに私立学校振興助成法第14条第2項の規定に基づく会計監査を実施している監査法人から、監査の実施状況及びその結果について報告を受け、さらに、学校法人の業務並びに財産の状況について意見を述べるに当たり、必要と認めた監査手続を旧監事監査規程に基づき実施しました。

2、監査の結果

学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表並びに財産目録等は、会計帳簿の記録と合致し、その収支及び財産の状況を、事業報告書は学校法人の状況を適切に表示しており、業務又は財産に関する不正の行為、または、法令もしくは旧寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上

学校法人 兵庫医科大学

2024 年度 事業報告書

発行日 : 2025 年 6 月 23 日

発 行 : 学校法人 兵庫医科大学

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1

TEL. 0798-45-6111(代)

編 集 : 学校法人兵庫医科大学 総務部総務課
